

冬期インバウンドアンケート調査結果

<目次>

調査概要	1
基本属性	2
1. 国籍	2
2. 居住地	3
3. 性別と年代	4
1) 全数集計	4
2) 国籍別集計	5
問 1. 白馬推奨度	7
1) 全数集計	7
2) 国籍別集計	8
問 2. 問 1 の選択理由	9
問 3. 利用したスキー場（宿泊施設）の推奨度	10
問 4. 問 3 の選択理由	11
問 5. 解決すべき課題	12
1. もっとも優先度の高い課題	12
1) 全数集計	12
2) 国籍別集計	13
2. 2 番目に優先度の高い課題	16
3. 3 番目に優先度の高い課題	17
問 6. 滞在日数	18
1) 全数集計	18
2) 国籍別集計	19
問 7. 白馬への来訪回数	22
1) 全数集計	22
2) 国籍別集計	23
問 8. 用具の手配	26
問 9. 旅行手配	26
1) 全数集計	26
2) 国籍別集計	27
問 10. 白馬旅行の情報源	28
1) 全数集計	28
2) 国籍別集計	29
問 11. 旅行先として白馬を選んだ決定的な要因	32
問 12. 各スキー場への訪問回数	33
1. 訪問率	33
2. 累計訪問日数	34

3. 訪問者一人あたりの平均訪問日数	35
問 13. 白馬での滞在先.....	36
問 14. 白馬滞在中の訪問先	37
問 15. 白馬來訪前後の滞在	38
1. 滞在有無.....	38
2. 滞在先.....	39
問 16. 消費単価.....	40
付属資料 アンケート調査票	42

調査概要

- 2017年1月3日から3月30日まで（回収日が判別できるもの）の86日間に、906票の調査票が回収された。このうち、スキー場で回収された調査票は885票、宿泊施設で回収された調査票は21票であった。
- 906票のうち、85票は居住地として「日本」を回答していた。インバウンドを対象とする本調査の目的に照らして、これらの調査票は集計から除外した。85票を除いた821票を対象として、以下の分析を行った。
- 特定の設問においては全数を対象とした集計に加えて、国籍調査の上位5ヶ国であったオーストラリア、アメリカ合衆国、イギリス、台湾、ニュージーランド国籍者による回答を抽出し、国別に集計した。あわせて、以上の5ヶ国以外の国籍者による回答（以下「主要5ヶ国以外」と呼称する）についても集計した。

意見等

- 白馬村観光地経営会議において、特に中国、韓国、台湾等の回答数について、実際とのかい離がある可能性があるとの意見があった。

基本属性

1. 国籍

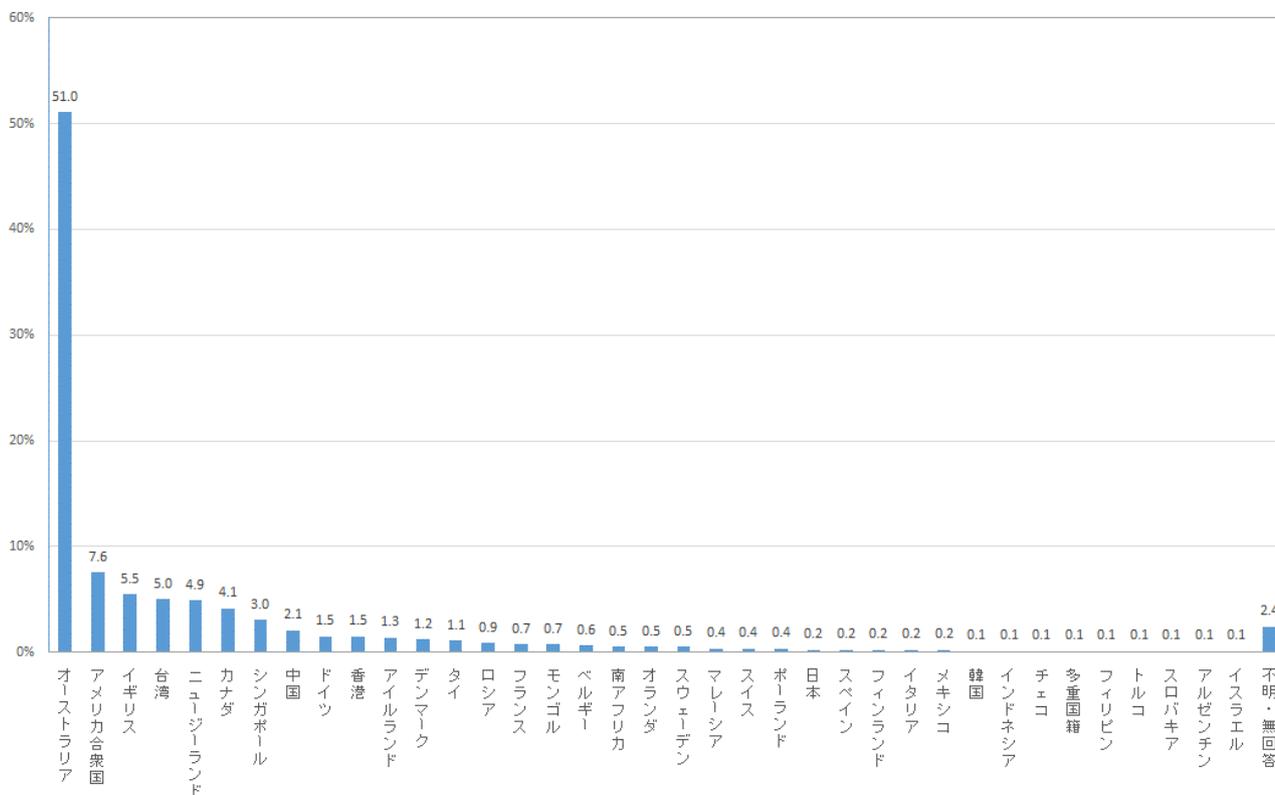


図-1 回答者の国籍（全数に占める割合, n = 821）

- ・ 回答者 821 名は、計 37 種の国籍を有していた。
- ・ 回答者の約半数（419 名、51.0%）がオーストラリア国籍を有し、もっとも高い割合を示した。2 番目以降にはアメリカ合衆国（62 名、7.55%）、イギリス（45 名、5.48%）、台湾（41 名、4.99%）が、それぞれ続いた。

※ 中国、台湾、香港は、本調査においてはすべて別の国籍として扱う。

2. 居住地

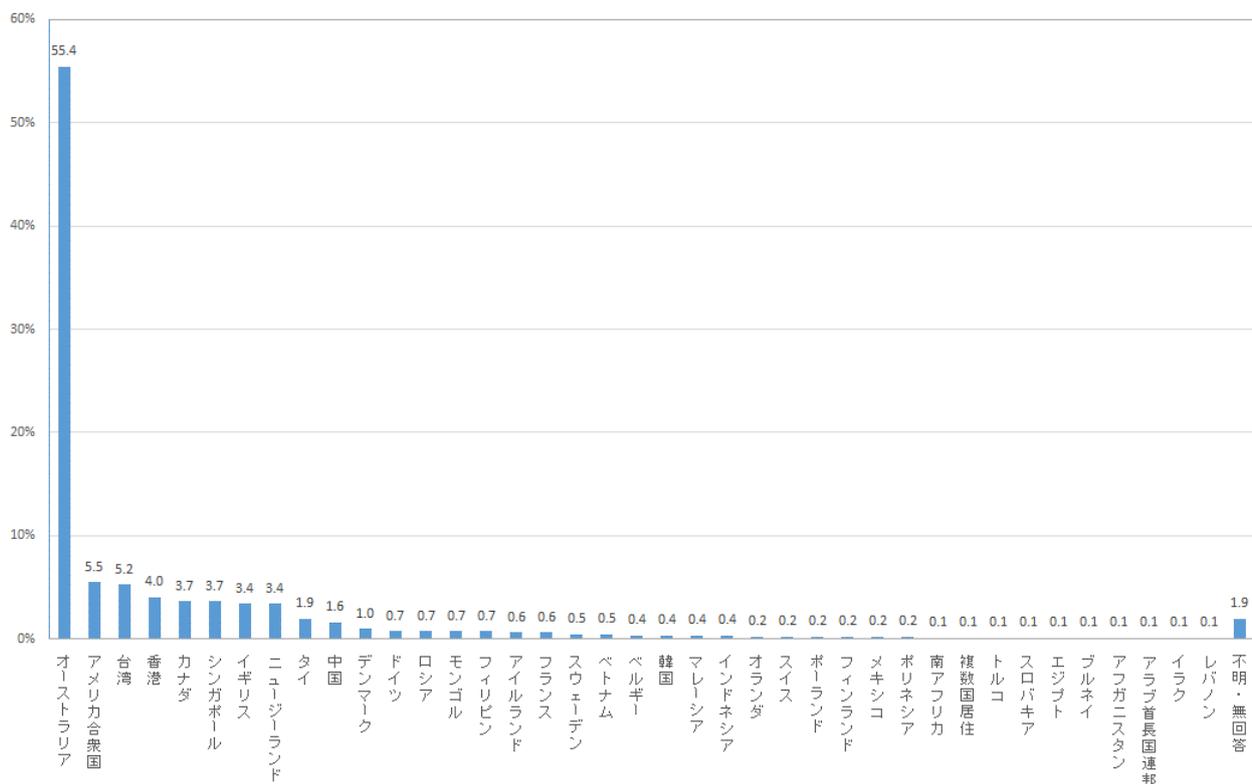


図-2 回答者の居住地（全数に占める割合, n = 821）

- ・ 回答者 821 名は、39 の国と地域から来訪していた。
- ・ 回答者の過半数（455 名、55.4%）がオーストラリアに居住し、もっとも高い割合を示した。2 番目以降にはアメリカ合衆国（45 名、5.48%）、台湾（43 名、5.24%）、香港（33 名、4.02%）が、それぞれ続いた。

※ 「ポリネシア」は、本調査においてはハワイおよび仏領ポリネシアを指す。

3. 性別と年代

1) 全数集計



図-3 回答者の年代（性別ごとの全数に占める割合，女性 n = 309，男性 n = 499）

- ・ 回答者 821 名のうち、499 名（60.8%）が男性、309 名（37.6%）が女性、13 名（1.58%）が不明・無回答であった。最年少の来訪者は 7 歳の男性であり、最年長の来訪者は 75 歳の女性であった。
- ・ 男女ともに、最も多かった年代は 20 代であり、2 番目以降には 30 代、40 代、50 代がそれぞれ続いた。各年代が占める割合を男女間で比較すると、20 代および 50 代は女性の方が、60 代は男性の方が、それぞれ 1%以上高かったが、全体として年代の分布に性別の差はみられなかった。

※ 「10 代」は、本調査においては満年齢 10 歳から 19 歳をさす。他の年代も同様。

2) 国籍別集計

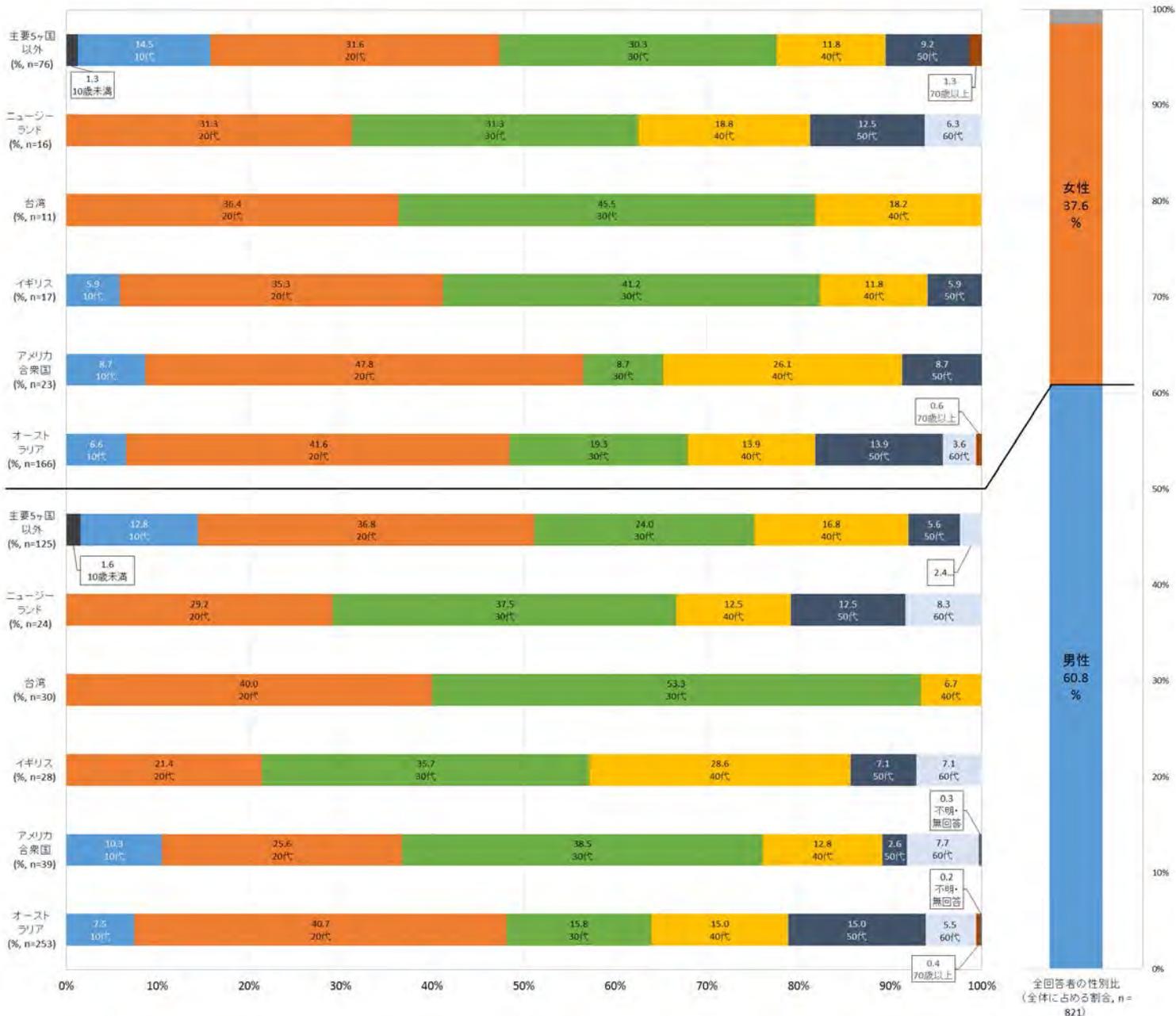


図-4 各国の男女別年代構成（各国の回答者数に占める割合）

- オーストラリアは男女ともに20代の回答者が多く、全体の40%以上を占めた。また50代の回答者が男女とも15%前後を占め、図-3の平均値を上回った。20代および50代を中心とした、異なる世代の回答者群が存在することが示唆された。
- ニュージーランドはオーストラリアに似た年代構成を示したが、比較するとオーストラリアよりも20代の割合が低く30代の割合が高い、50代の割合が低く60代の割合が高かった。2世代の回答者が共存する点ではオーストラリアに類似する特徴をもつが、回答者は全体として年長側にスライドしているものと考えられる。

- アメリカ合衆国は男女間で年代構成が異なり、10代と70代以上を除くすべての世代で、割合に顕著な差異が認められた。女性は20代が全体の5割弱を占めるのに対して、男性は30代が全体の4割弱を占め、また女性は40代と50代で全体の3割超を占めるのに対して、男性は60代が平均を上回る値を示した。以上の結果を説明する要因として、アメリカ合衆国からの来訪する小集団内では、全体として男女間の「歳の差」が存在することが考えられる。
- 台湾の年代構成は男女とも若年側に偏っており、どちらも20代、30代、40代でのみ構成されていた。男女の年代構成を比較すると、20代の占める割合には顕著な差は見られないものの、男性は30代が全体の5割超を占めていたのに対して女性は5割以下であり、代わりに40代が男性の3倍近い値を示した。全体に若く、オーストラリアやニュージーランドのような2世代共存型ではない点、ならびに30代では男性、40代では女性が旺盛に来訪すると推察される点を、台湾国籍回答者の特徴として指摘できると考えられる。
- イギリスの年代構成は、全体として若年側に偏るという点で台湾と共通の特徴を示したが、男女の結果に顕著な差異はみられなかった。

問 1. 白馬推奨度

1) 全数集計

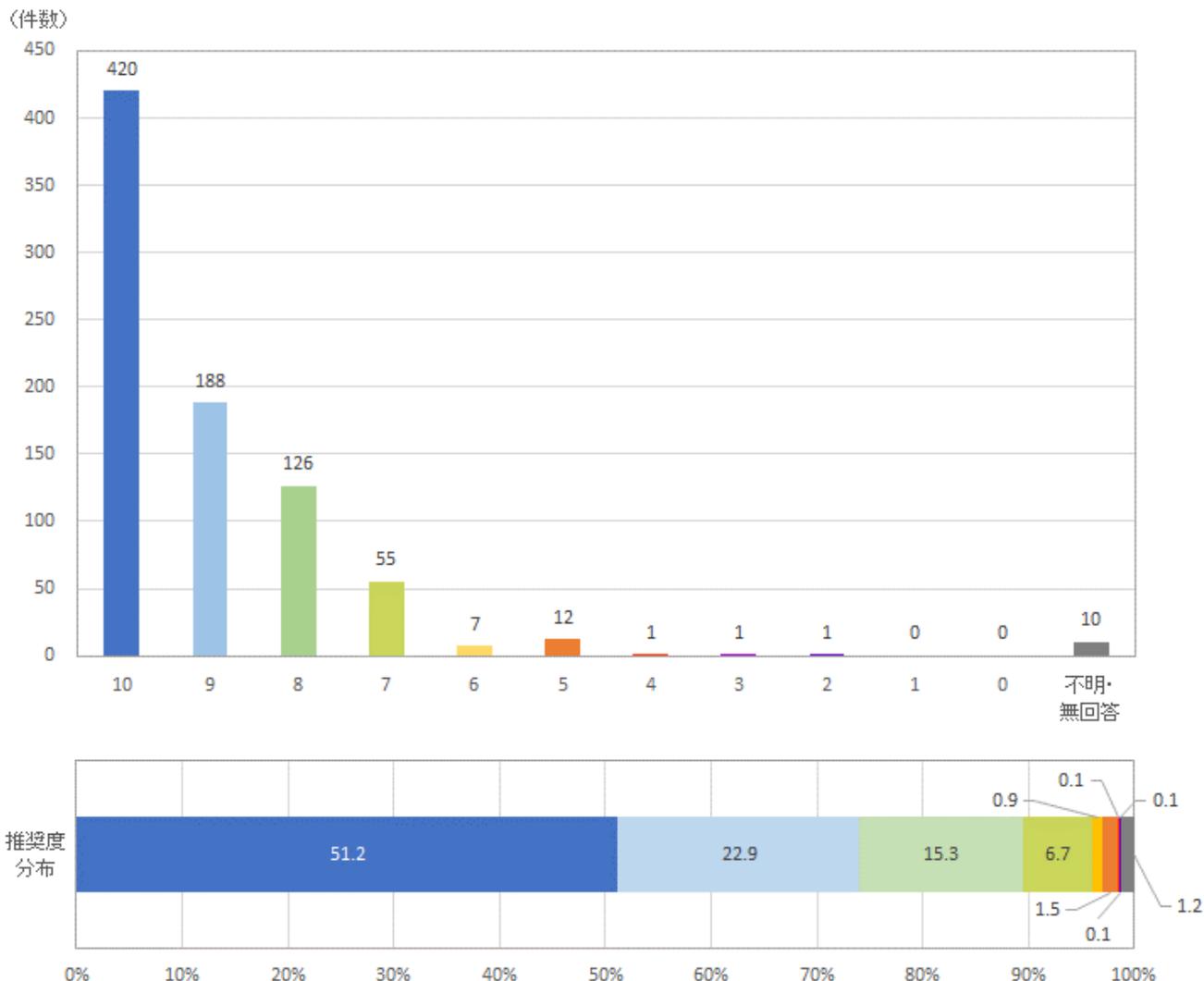


図-5 白馬バレー推奨度の分布（件数および全体に占める割合、n = 821）

- ・ 821 票のうち、白馬バレー推奨度の有効回答数は 811 件であった。
- ・ 全体の半数（420 件、51.2%）が、最も高い推奨度である 10 を選択していた。2 番目以降には 9（188 件、22.9%）、8（126 件、15.3%）、7（55 件、6.70%）が、順に続いた。
- ・ 有効回答 811 件の平均推奨度は 9.12、中央値は 10 であり、全体として高い推奨度が回答されていた。
- ・ 一方で推奨度 5 の回答が 12 件あり、全体の 1.46% を占めた。最も低い評価は 2 であった。

2) 国籍別集計

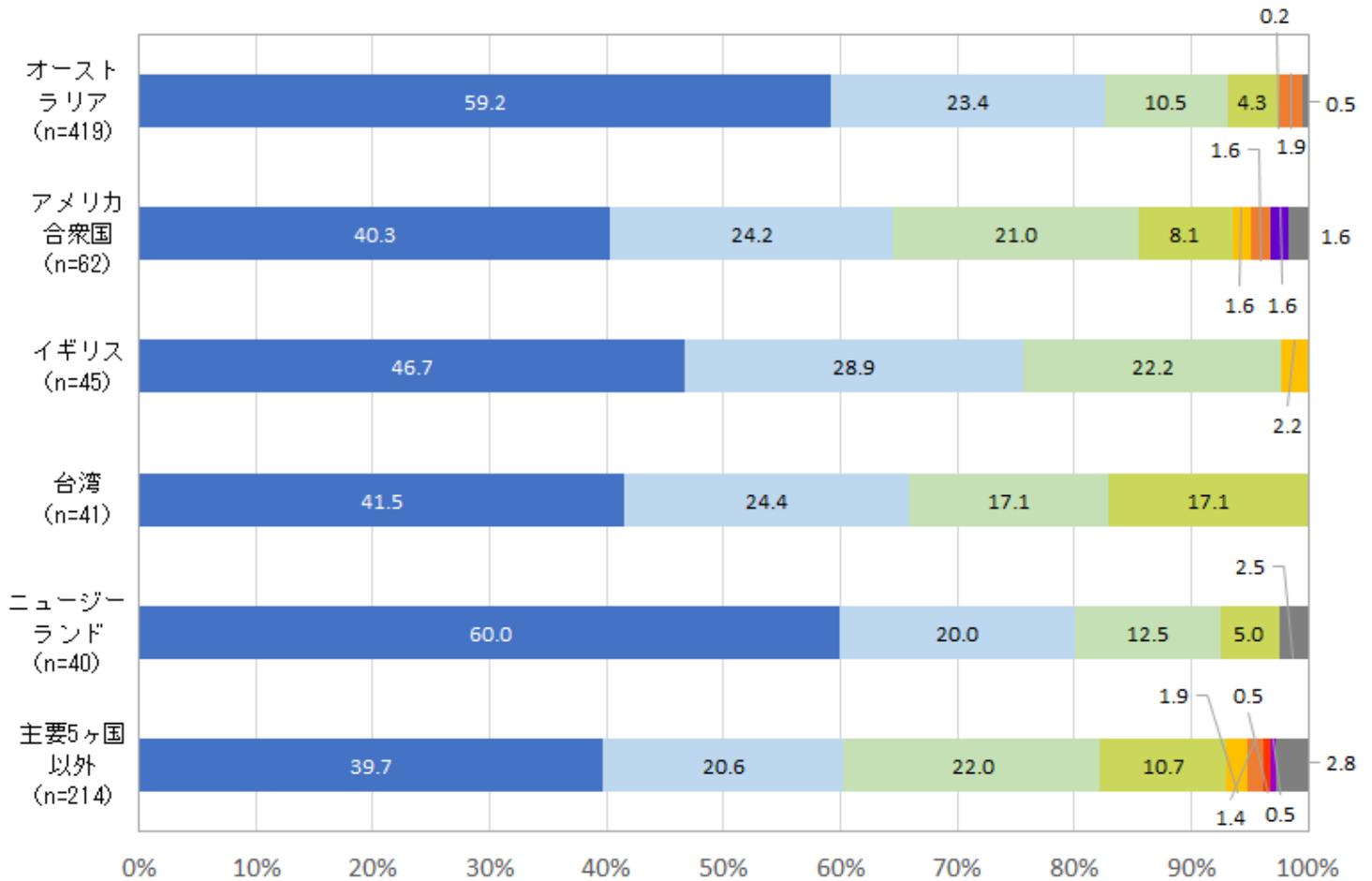


図-6 各国の白馬バレー推奨度分布（各国の回答者数に占める割合）

- 白馬バレー推奨度を国籍別に集計すると、結果は上図のようになった。図-5で参照した全体の平均値と比較すると、オーストラリアおよびニュージーランドは推奨度10の占める割合が高く、それ以外の3国ならびに主要5ヶ国以外は平均値を下回った。オーストラリア国籍またはニュージーランド国籍を有する回答者の評価は特に高く、これらが全体の平均値を引き上げていることが分かった。
- 推奨度9および8の占める割合は、各国間で顕著な差異はみられなかった。アメリカ合衆国からの回答には、少数ながら推奨度5以下の回答が含まれていた。
- 各国の平均推奨度は以下の通りであった（不明・未回答を除外して算出）

オーストラリア	9.274点
アメリカ合衆国	8.661点
イギリス	9.178点
台湾	8.902点
ニュージーランド	9.150点

問2. 問1の選択理由

※ コメント末尾の数字は、その回答者の推奨度を示す。以降の設問も同様。

- ・ 第一に、雪質、天候、東京からのアクセス性といった地理的条件が、高い推奨度を選択した理由として挙げられた。

雪、東京へのアクセス、素敵なゲレンデ (10)

パウダースノーがすばらしい。オーストラリアの雪よりずっといい (10)

- ・ あわせて、ゲレンデ、レストラン、宿泊施設の選択肢が多くあることが、高い推奨度を選択した理由として挙げられた。この際、ゲレンデのコンディションや価格、スタッフの対応が良好であったことに言及する記述も複数みられた。

色々なホテルとB&Bの選択肢がある。英語が話せる人にとってもいい場所。(10)

おいしい日本食が食べられるレストランが豊富。宿泊施設やツアーの選択肢が多い (8)

コンディションが良い、フレンドリーなスタッフ、アクセスが簡単 (10)

人はフレンドリー、良いスキーができる、手頃な価格、日本らしいところ (10)

フレンドリーで親切な人、色々な種類のレストラン (値段設定も様々) (10)

- ・ 一方で、高い推奨度を与えているものの、コメントの中で改善すべき点を指摘する意見も散見された。これらについては、詳細を問5「解決すべき課題」で参照する。
- ・ 問5の結果欄において参照していない意見としては、コース設定に関するコメントが複数みられた。具体的にはツリーエリアやテレインなど、比較的新しいスキーやスノーボード楽しみ方をしたいという要望が寄せられた。

もっとツリー (エリア) を開放してほしい。もっと色々なコースがほしい。(8)

ツリーコースをもっと開放してほしい。自然のテレインの種類も増やして。(8)

問 3. 利用したスキー場（宿泊施設）の推奨度

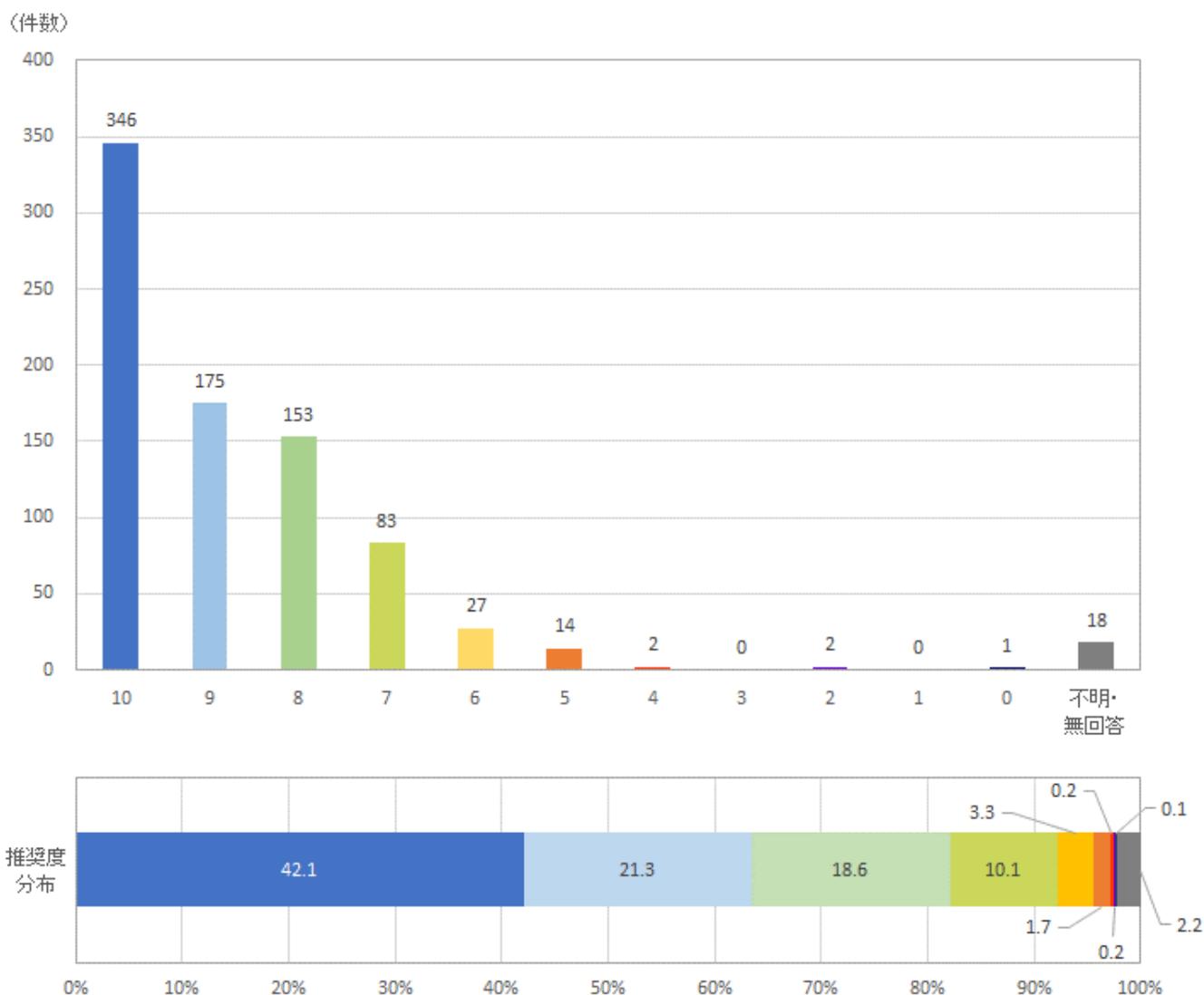


図-7 利用したスキー場（宿泊施設）推奨度の分布（件数および全体に占める割合、n = 821）

- ・ 821 票のうち、利用したスキー場（宿泊施設）推奨度の有効回答数は 803 件であった。
- ・ 全体の半数弱（346 件、42.1%）が、最も高い推奨度である 10 を選択していた。2 番目以降には 9（175 件、21.3%）、8（153 件、18.6%）、7（83 件、10.1%）が、順に続いた。
- ・ 有効回答 803 件の平均推奨度は 8.82、中央値は 9 であり、全体として高い推奨度が回答されていたが、白馬バレー全体の推奨度と比較すると低い値を示した。
- ・ 推奨度 6 の回答が 27 件、5 の回答が 14 件あり、それぞれ全体の 3.29%、1.71%を占めた。最も低い評価は 0 であった。

※ 「利用したスキー場（宿泊施設）推奨度」とは、その調査票を回収したスキー場（宿泊施設）の推奨度をさす。

問 4. 問 3 の選択理由

- ・ 利用したスキー場に対する回答について見ると、問 2 と同様に、雪質や景色といった地理的条件が、高い推奨度を選択した理由として多く挙げられた。この際、ゲレンデや山そのもの、スタッフの対応が良好であったことに言及する記述も複数みられた。

好きな山。パウダー（スノー）のある、長くて良いコース。(10)

最高の景色。山は休日を楽しむのに適した場所。(10)

素晴らしいコースと施設。良い雪。素敵なスタッフ (9)

リフトのサービスがすばらしく、スタッフもフレンドリー。(8)

人がとてもフレンドリー。よく整備されている。良い施設。リフトで行くと早い。(7)

- ・ ゲレンデ内のコースに対して、全体に好意的な意見が寄せられていた。その内容をみると、初心者から中級者に適したコース設計がなされていることや、多様な家族構成に対応していることが挙げられていた。

コースが長くて広いので、初心者最適である。(10)

良いハーフパイプとジャンプ (8)

私は初心者だが、初心者向けのエリアが合っている。(9)

いいジャンプ。中級に合っている。(7)

スキー場は全ての年齢層、レベルに対応している。スタッフはとてもフレンドリー (10)

色々なレベルの人に合う。スキーの学校もすばらしい。(8)

コースは面白くて、豊か。(9)

- ・ 一方で問 2 と同様に、推奨度の値にかかわらず改善点を指摘する意見も複数寄せられていた。これらの内容については、詳細を問 5 「解決すべき課題」で参照する。
- ・ 問 5 の結果欄で参照していない意見に、混雑に関するコメントがある。混雑については批判だけでなく好意的なコメントもみられ、スキー場によって評価に差異がみられた。海外から来訪した回答者らは「混んでいない」ことを期待しており、それが叶えられた場合には良い評価が、叶えられなかった場合には悪い評価が与えられた可能性が示唆される。

アクシデントを防ぐために、リフトの出口でぐずぐずしている人たちに教育が必要 (10)

人が素敵。ゲレンデが混んでいない (9)

スノーボーダーが多すぎて、トラックを塞いだ (7)

ゲレンデが混んでいない。リフトに人が並んでいない。(9)

鹿島槍がとても好き。人がフレンドリーで、テレインが美しく、混んでいないから。友達に勧めたら、混雑してしまう (7)

- ・ 前述末尾の回答者は、問 2 で次のように回答している。

白馬は人が多くなくてよかったが、今はたくさんの方が来るので、スキー場、店、道などでとても混雑し、値段が高い。(5)

問 5. 解決すべき課題

1. もっとも優先度の高い課題

1) 全数集計

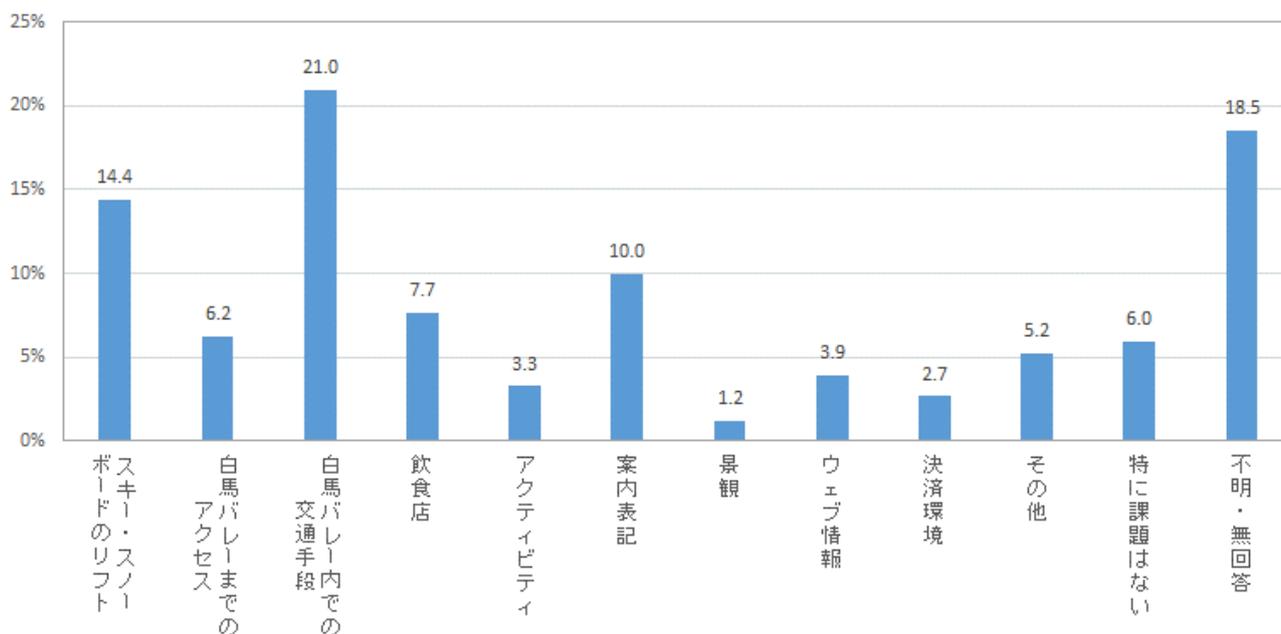


図-8 もっとも優先度の高い課題（全体に占める割合, n = 821）

- 821 票のうち、もっとも優先度の高い課題に対する有効回答は 669 件であった。「特に課題はない」とした 49 件（5.97%）を除くと、620 件の回答が改善点を指摘した。
- 全体のおよそ 2 割（172 件、21.0%）が、「白馬バレー内での交通手段」を課題として選択していた。この点については問 2 および問 4 で、以下の記述がみられた。

もうちょっとシャトルバスを増やしてほしい (9)

1 つだけ改善点を挙げるなら、もっと頻繁にバスを走らせてほしい (10)

無料のシャトルバスでは、午前中に岩岳を登って夜に戻って来ることができない。(7)

バスのサービスを向上して。バスの外側にスキーの荷台を設置する必要がある。(10)

もっとシャトルバスが走っていれば、もっと高い評価を付けた。(8)

- 2 番目に選択された課題は「スキー・スノーボードのリフト」であり、118 件（14.4%）の指摘が寄せられた。この課題についても、問 2 および問 4 において以下のコメントが寄せられた。リフトを設備の老朽化を指摘する記述が多数みられたが、リフトについては肯定的なコメントも寄せられており、質的にみると評価は一定でない。

リフトが古すぎる。(7) インフラが古い。雪は最高 (5)

リフトのサービスがすばらしい。手入れが行き届いていて、良い状態。(10)

素敵なゲレンデ、人がフレンドリー。リフトの設備を最新化すること。(8)

2) 国籍別集計

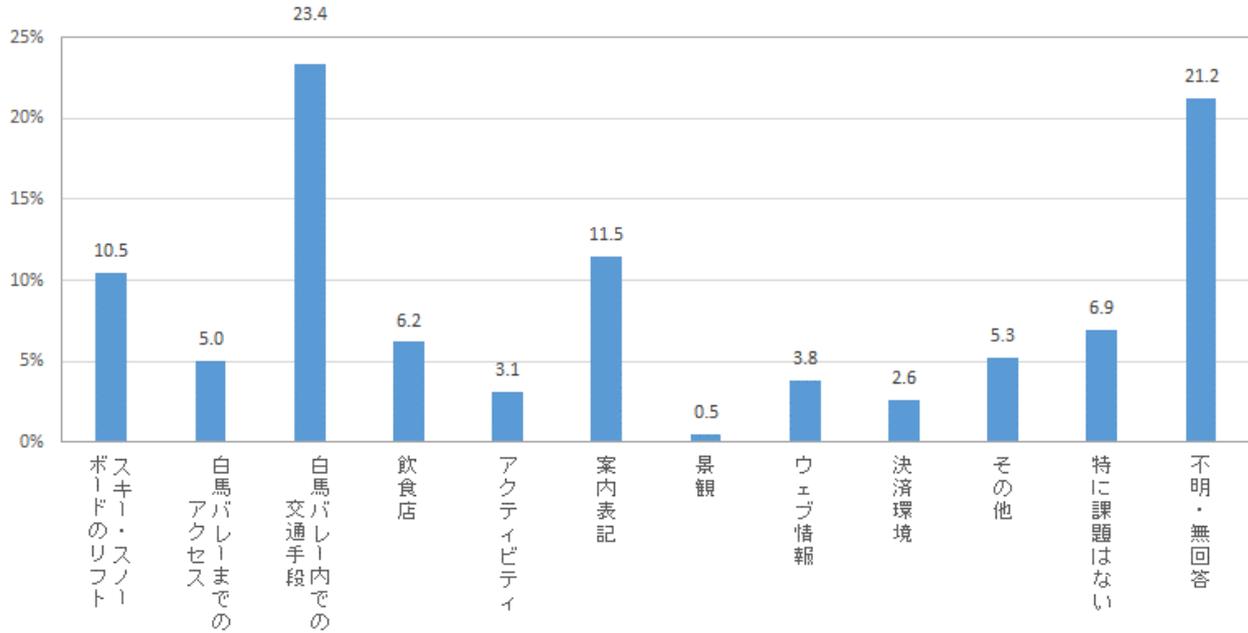


図-9 オーストラリア国籍: もっとも優先度の高い課題 (全体に占める割合, n = 419)

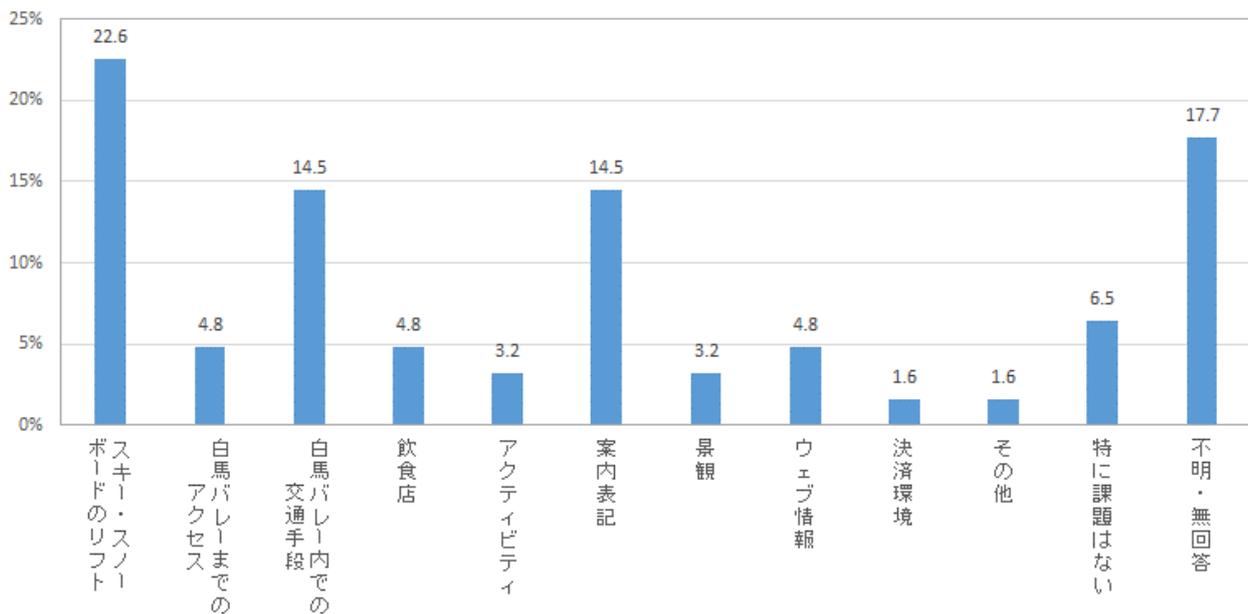


図-10 アメリカ合衆国国籍: もっとも優先度の高い課題 (全体に占める割合, n = 62)

イギリス

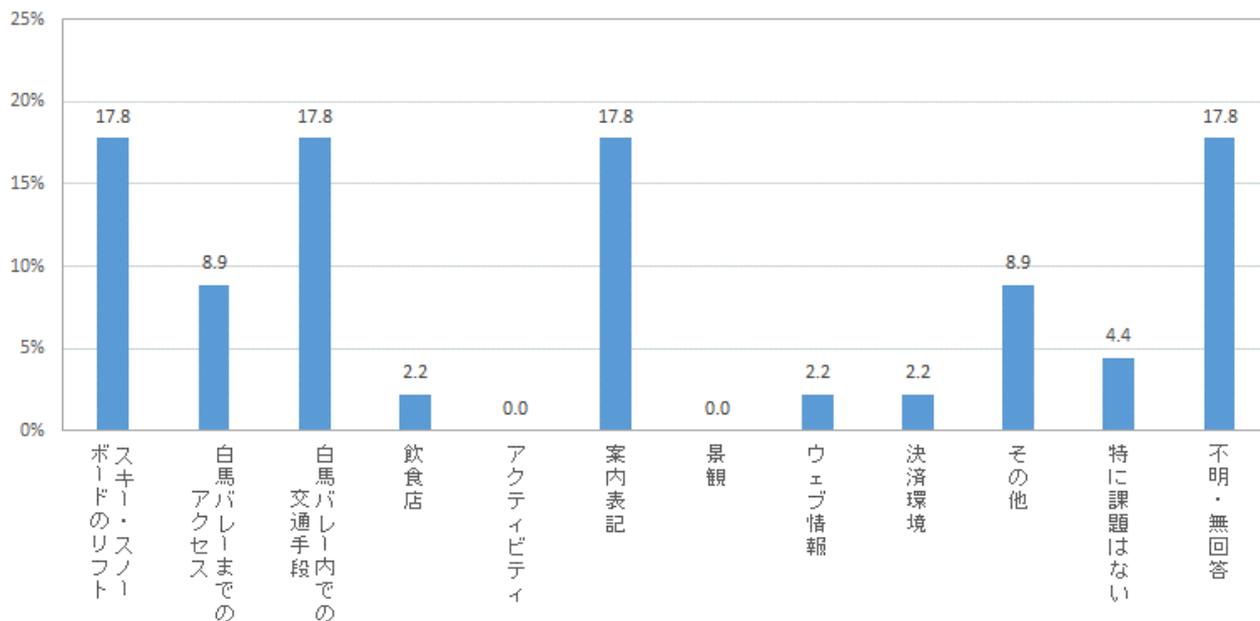


図-11 イギリス国籍: もっとも優先度の高い課題 (全体に占める割合, n = 45)

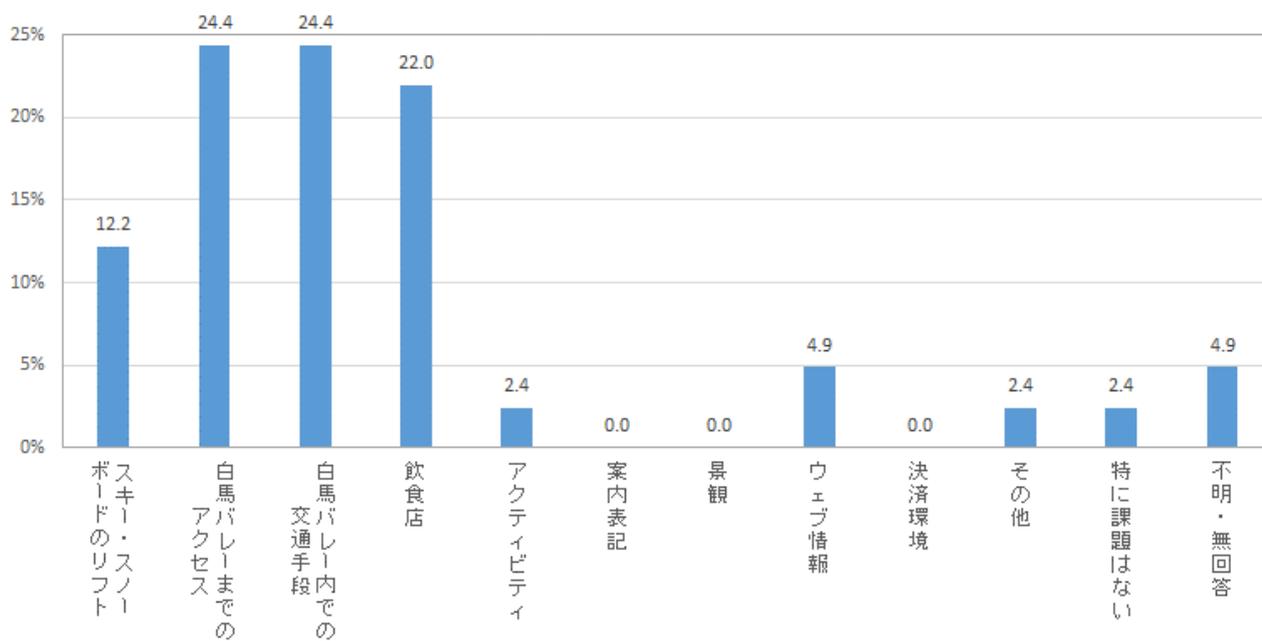


図-12 台湾国籍: もっとも優先度の高い課題 (全体に占める割合, n = 41)

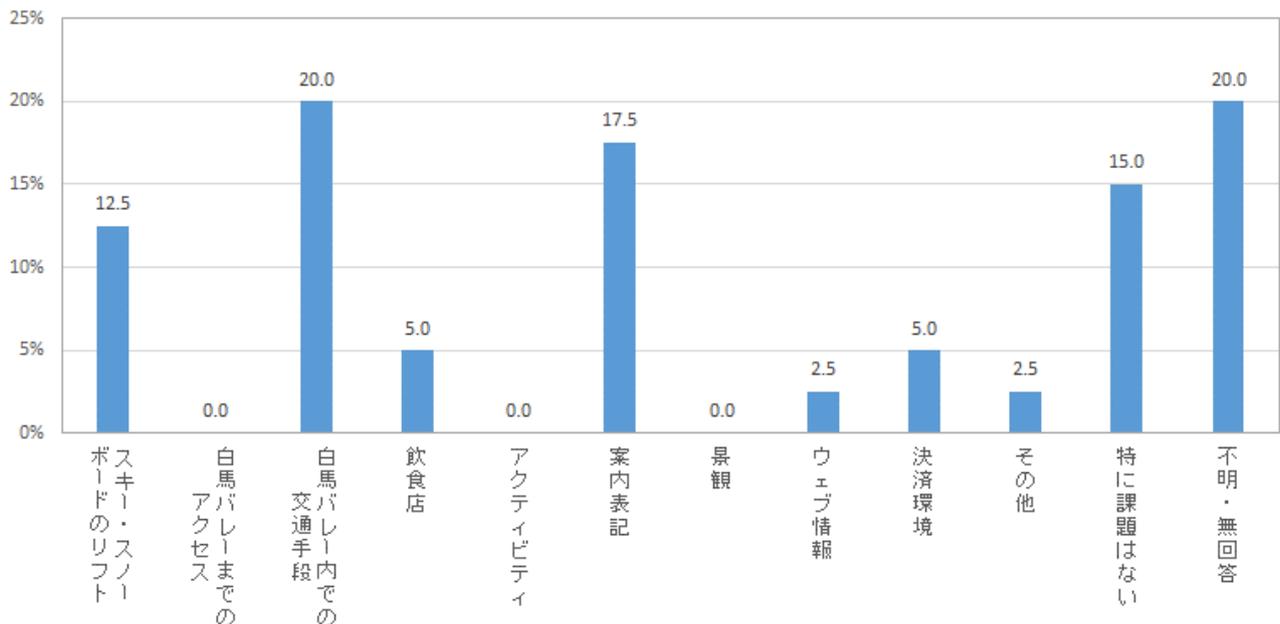


図-13 ニュージーランド国籍: もっとも優先度の高い課題 (全体に占める割合, n = 40)

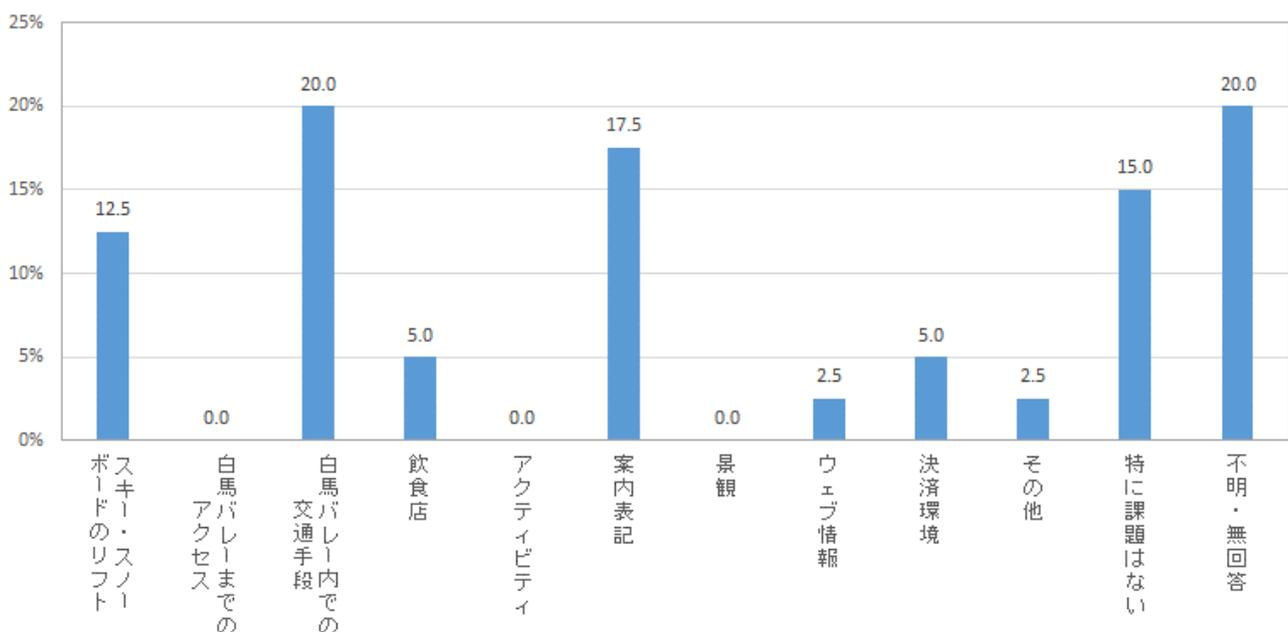


図-14 主要5ヶ国以外: もっとも優先度の高い課題 (全体に占める割合, n = 214)

- ・ 第一に「白馬バレー内での交通手段」については、アメリカ合衆国のみ2番目、その他の国はもっとも高い割合を占めた。どの国籍の回答者に対しても、共通して最重要課題と認識されていることが明らかになった。
- ・ 「スキー・スノーボードのリフト」および「案内表記」に関しては、英語圏4ヶ国が重要課題として指摘した一方で、台湾国籍の回答者は「白馬バレーまでのアクセス」「飲食店」について、より重要な課題であると感じていた。漢字の判読が可能であることから、案内表記には寛容な傾向を示した可能性が示唆される。

2. 2番目に優先度の高い課題

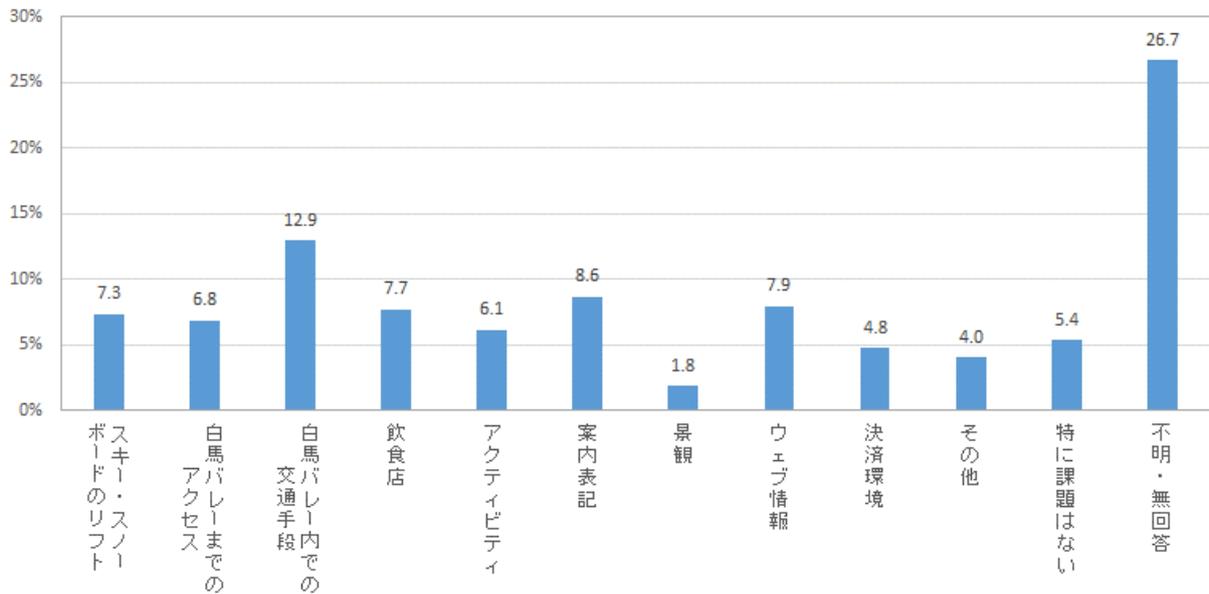


図-15 2番目に優先度の高い課題（全体に占める割合, n = 821）

- 821票のうち、2番目に優先度の高い課題に対する有効回答は602件であった。「特に課題はない」とした44件（5.36%）を除くと、558件の回答が改善点を指摘した。
- 既に検討した改善点を除外すると、もっとも多く選択された課題は「案内表記」であった（71件、8.65%）。この改善点について、問2および問4では以下のような記述がみられた。ゲレンデ内のサインに対するコメントが複数寄せられていることから、「案内表記」の具体的な改善点として、ゲレンデ内の英語標識が不足していることが想定される。

複雑なので、適切な標識をコースに置いてほしい。(7)

サインを増やして。リフトをどこで降りるのか矢印の付いたサイン。(9)

コースのレベルを示す英語の標識を増やしてほしい。(10)

すばらしい場所。コースにもっと標識があるといい。(10)

- 次に選択された課題は「ウェブ情報」であり、65件（7.92%）の指摘が寄せられた。この課題については、問4および問17において以下のような言及がみられた。特に、シャトルバスをはじめとした二次交通に関して、オンラインでの情報提供が求められていると考えられる。

ウェブサイト色々探したが、分かりにくい。

ウェブサイト、無料のシャトルバスが停車すると掲載したほうがいい。この情報は役立つはず。(10)

移動に関する情報が溢れすぎていて、分かりにくい。読みやすく、簡潔なウェブサイトが1つあればいい。

もっと頻繁にバスを走らせて。交通の便を良くしてほしい。旅行を計画しやすいように、ウェブサイトを作ってほしい。

3. 3番目に優先度の高い課題

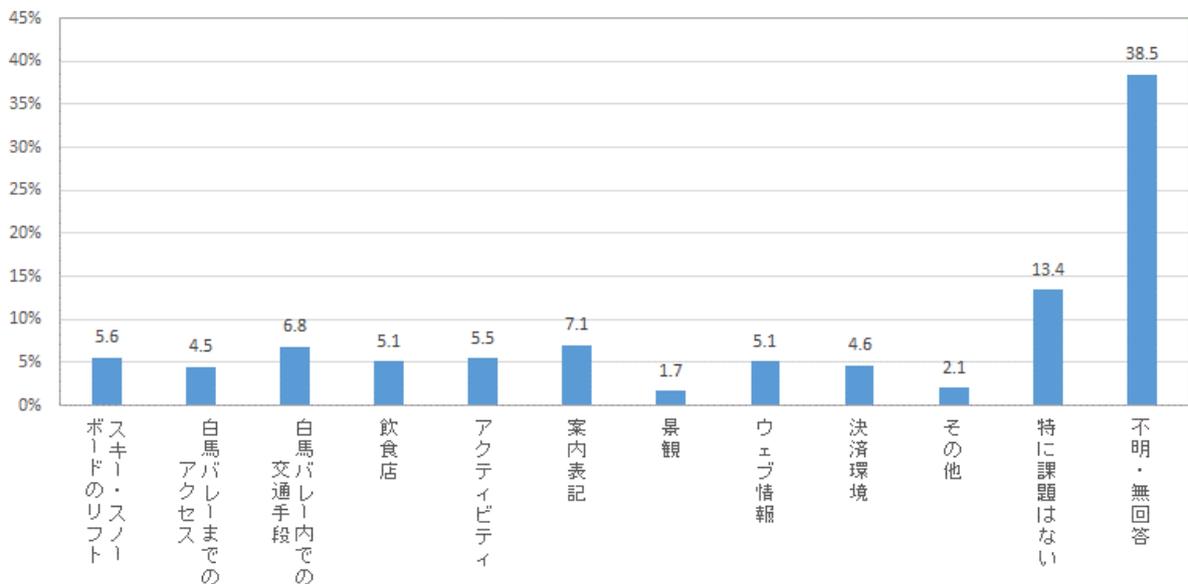


図-16 3番目に優先度の高い課題（全体に占める割合、n = 821）

- 821票のうち、3番目に優先度の高い課題に対する有効回答は505件であった。「特に課題はない」とした110件（13.4%）を除くと、395件の回答が改善点を指摘した。
- 既に検討した改善点を除外すると、もっとも多く選択された課題は「アクティビティ」であり（45件、5.48%）、2番目に多く選択された課題は「飲食店」であった（42件、5.12%）。これらの改善点について、問2では以下のような記述がみられた。

夜の時間の過ごし方が制限される。山頂にバーがあるといい。(7)

夜の遊び、スキーの後（のオプション）がもっとほしい。(8)

バーやパブの数を増やしてほしい。(8)

雪がなければ、やることがない。静かな町。(5)

食事と飲み物の種類を増やして。ナイトライフの選択肢も。(7)

雪は素晴らしいが、ナイトライフや人との交流が少し足りない。(6)

スキー後に行けるバー（外でも、ヒーターが付いている）がもっとほしい。音楽のかかった山頂にあるバー。(9)

- すなわち、スキー後のアクティビティを行う飲食施設の不足を感じていることが想定される。これらのコメントが寄せられた調査票を概観すると、全体的に推奨度が低い。アフタースキー需要の受け入れ整備にあたっては、ATMなど付随施設も必要であると考えられるが、一方で現在のまちなみを評価する声もある。

もっとATMが必要。(9)

ここは初心者には合っているが、古くて不便。24時間開いているコンビニもない。(5)

宿泊施設と山のエリアの種類の多さ。フレンドリーで親切な人。西洋化されていない。例えばマクドナルドがない！（10）

問 6. 滞在日数

1) 全数集計

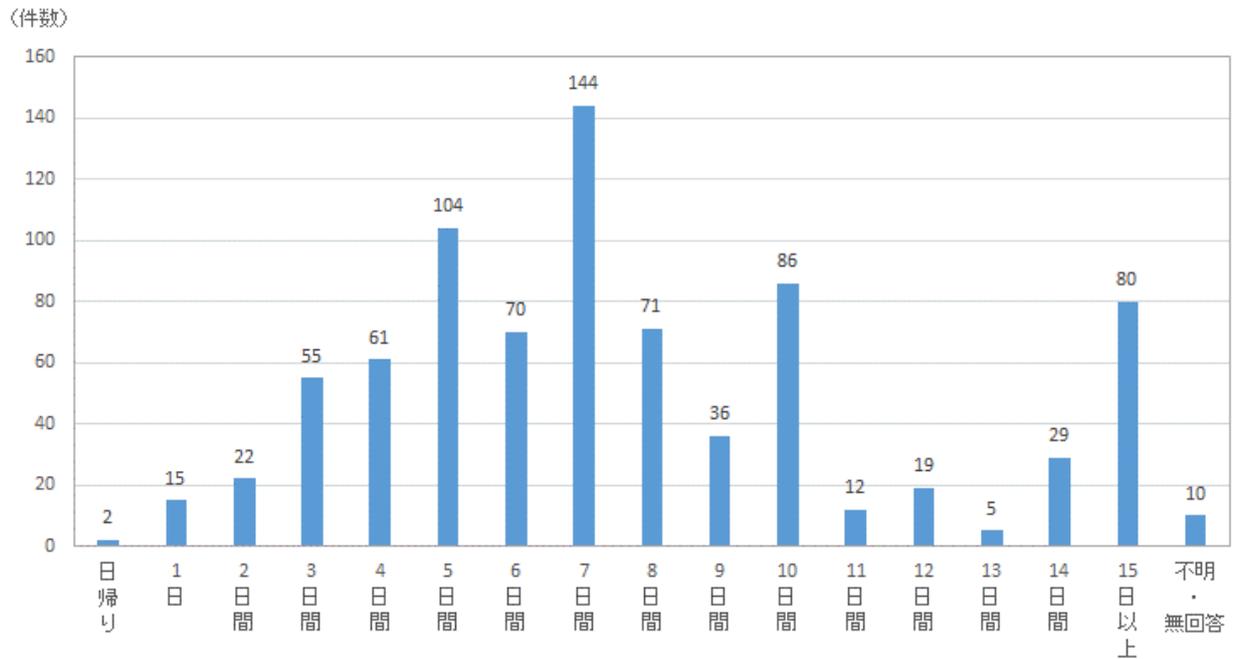


図-17 白馬バレーへの滞在日数（回答件数, n = 821）

- ・ 821票のうち、白馬バレーへの滞在日数の有効回答数は811件であった。
- ・ もっとも回答数の多かった滞在日数は「7日間」であり、全回答者の2割弱（144件、17.5%）が選択した。2番目には「5日間」（104件、12.7%）が、3番目には「10日間」（86件、10.5%）が、それぞれ続いた。
- ・ 長期滞在について見ると、15日間は4件（0.487%）、16日間は2件（0.244%）、17日間は0件であり、14日間の小ピーク（29件、3.53%）以降は分布に一定の傾向は認められなかった。一方で一週間以内の滞在では、1日から5日間までは滞在日数の延長に従って回答件数が増加していた。

2) 国籍別集計

オーストラリア

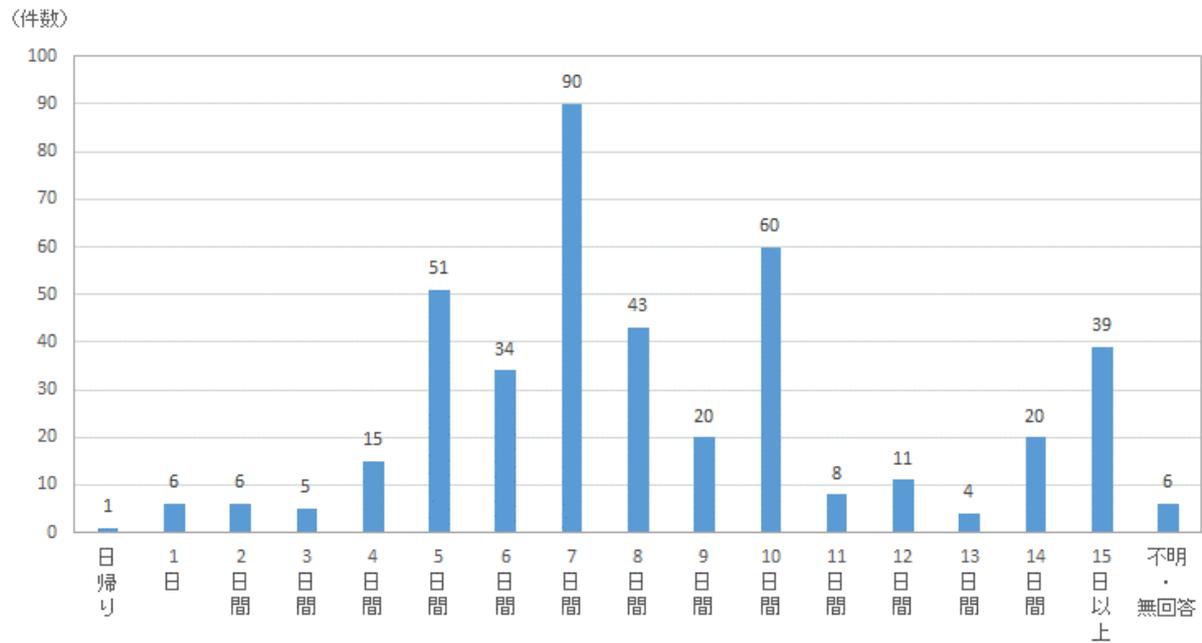


図-18 オーストラリア国籍: 白馬バレーへの滞在日数 (回答件数, n = 419)

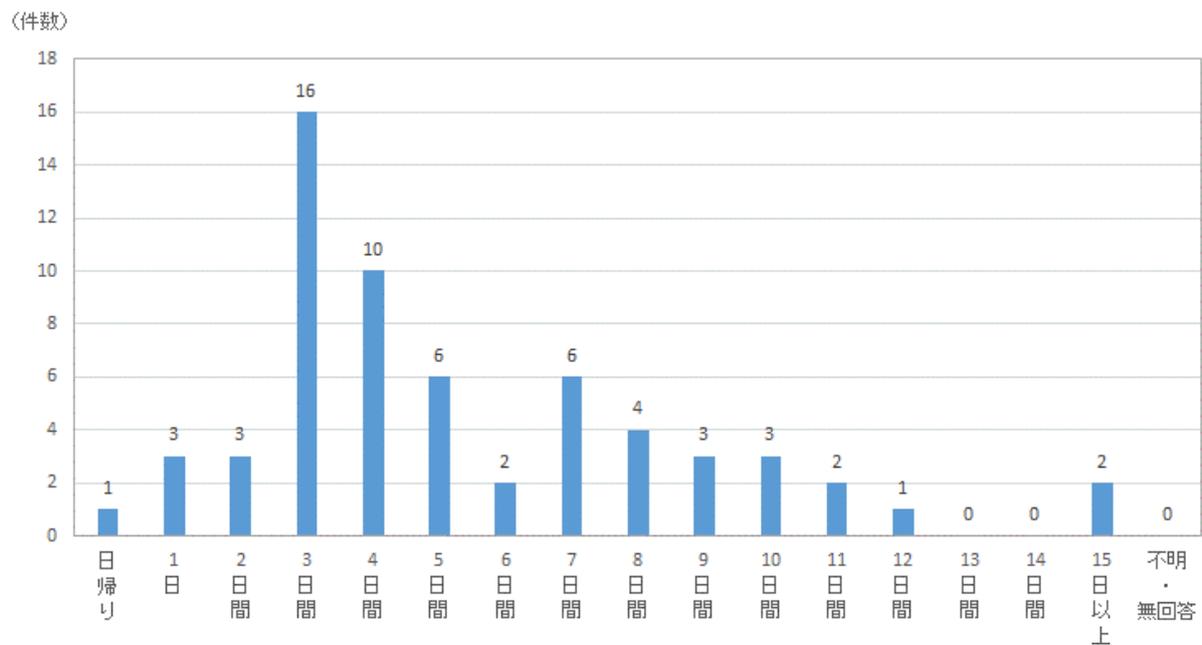


図-19 アメリカ合衆国国籍: 白馬バレーへの滞在日数 (回答件数, n = 62)

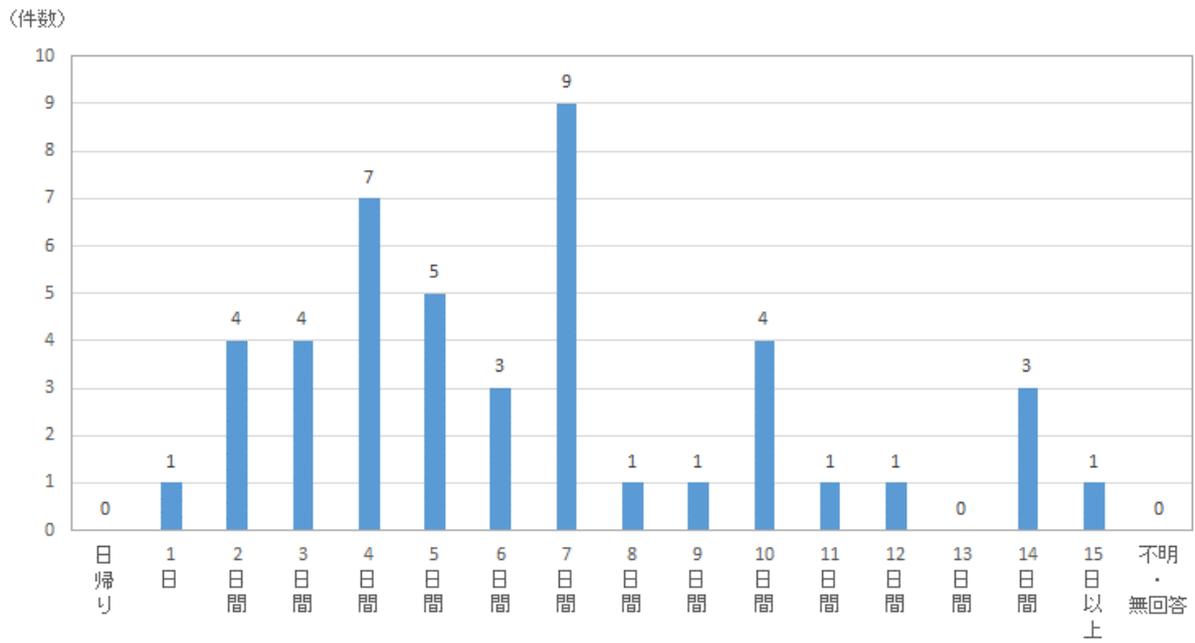


図-20 イギリス国籍: 白馬バレーへの滞在日数 (回答件数, n = 45)

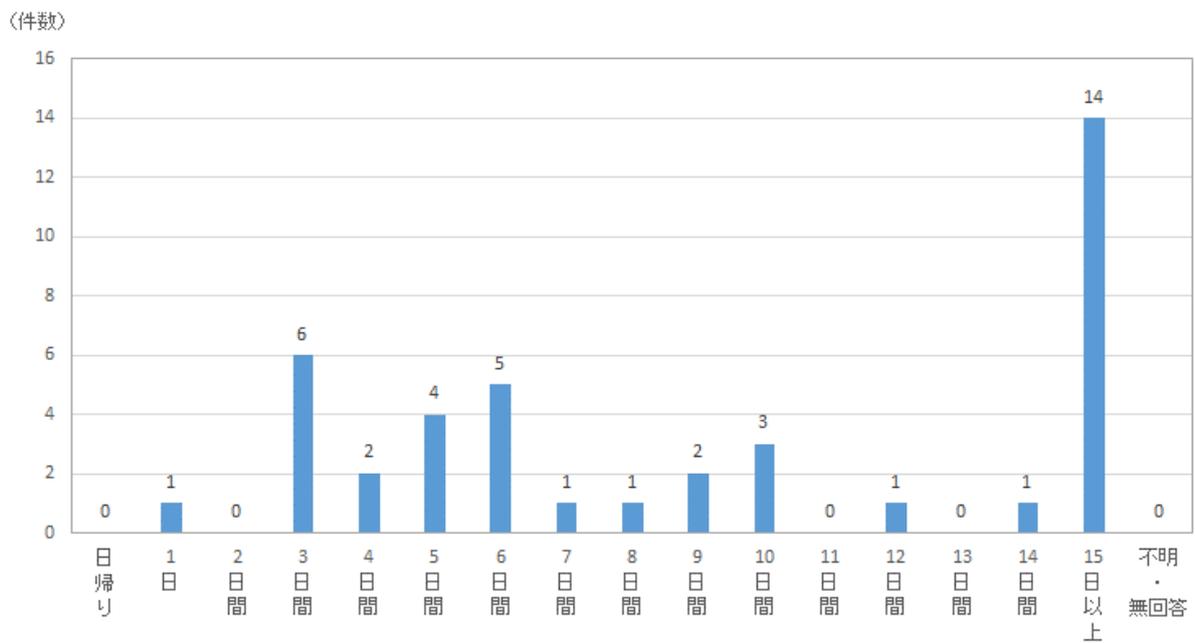


図-21 台湾国籍: 白馬バレーへの滞在日数 (回答件数, n = 41)

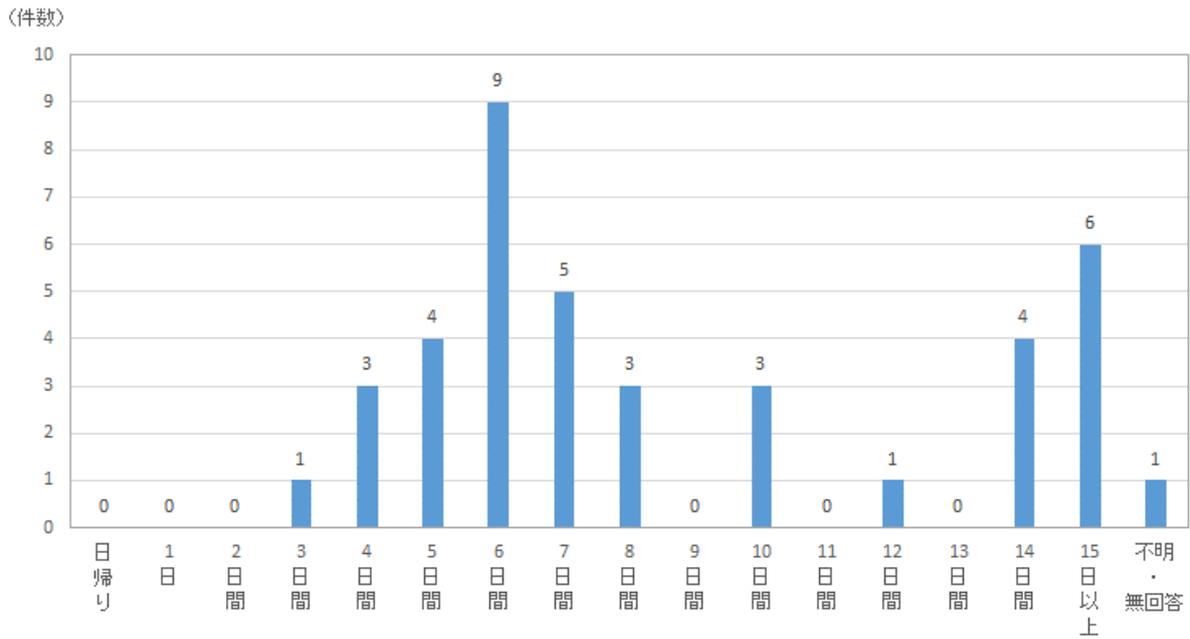


図-22 ニュージーランド国籍：白馬バレーへの滞在日数（回答件数, n = 40）

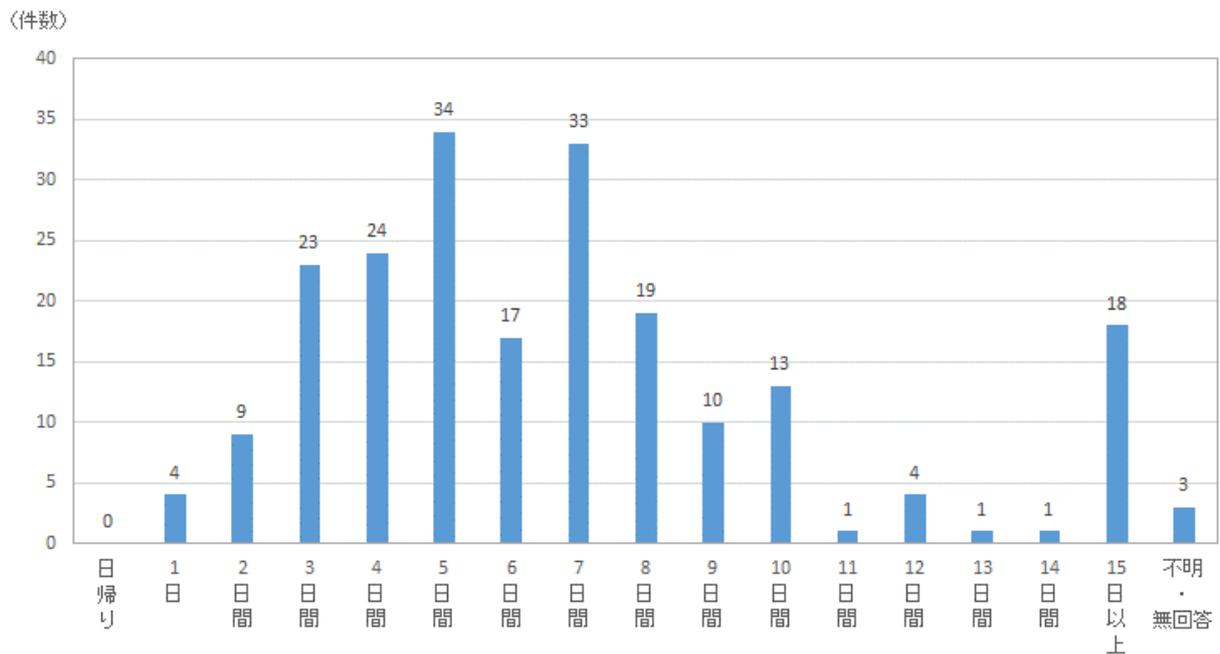


図-23 主要5ヶ国以外：白馬バレーへの滞在日数（回答件数, n = 214）

- ・ 白馬への滞在日数の分布を国籍別にみると、オーストラリアおよびイギリスは全体平均と同様5日間、7日間、10日間にピークを示していた。回答者数の半数を占めるオーストラリアの傾向が、全体平均の主たる形成要因となっていた。
- ・ アメリカ合衆国は滞在日数が比較的短く、件数のピークは3日間であった。一方で台湾は全体の3割超が15日間以上の超長期滞在であり、分布に顕著な差異がみられた。

問 7. 白馬への来訪回数

1) 全数集計

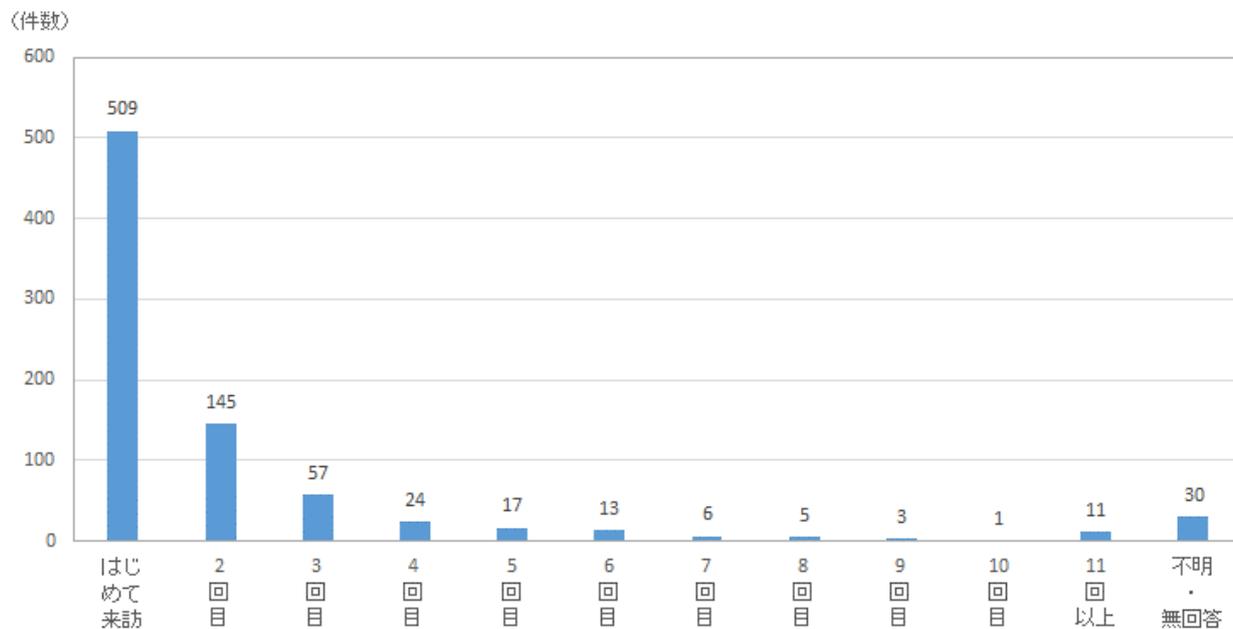


図-24 白馬への来訪回数（回答件数, n = 821）

- ・ 821 票のうち、白馬の来訪回数の有効回答数は 791 件であった。
- ・ もっとも回答数の多かった滞在日数は「はじめて来訪」であり、全回答者の約 6 割（509 件、62.0%）が選択した。2 番目以降は、来訪回数の増加にともなって、回答件数は一様に減少していた。

2) 国籍別集計

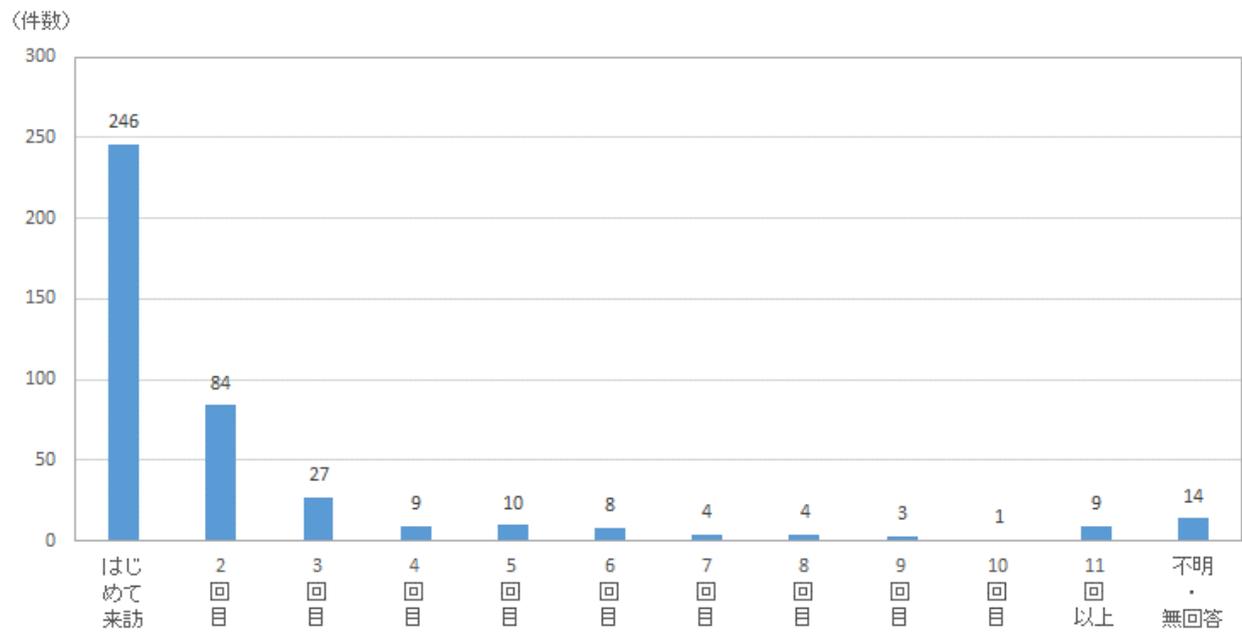


図-25 オーストラリア国籍: 白馬への来訪回数 (回答件数, n = 419)

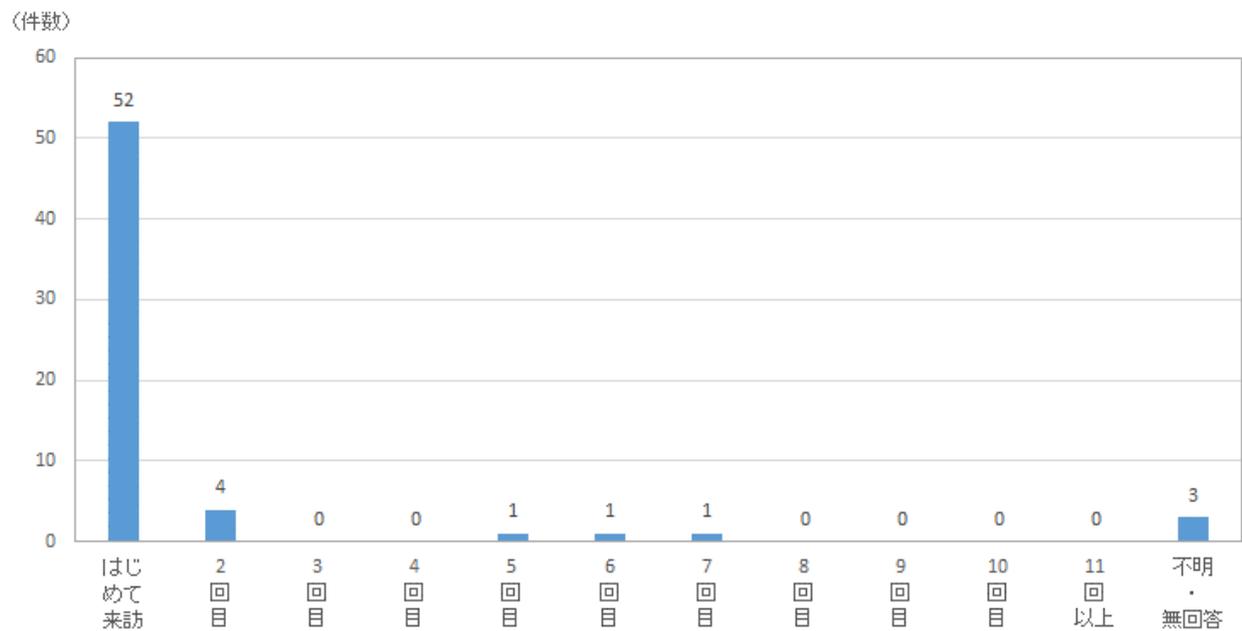


図-26 アメリカ合衆国国籍: 白馬への来訪回数 (回答件数, n = 62)

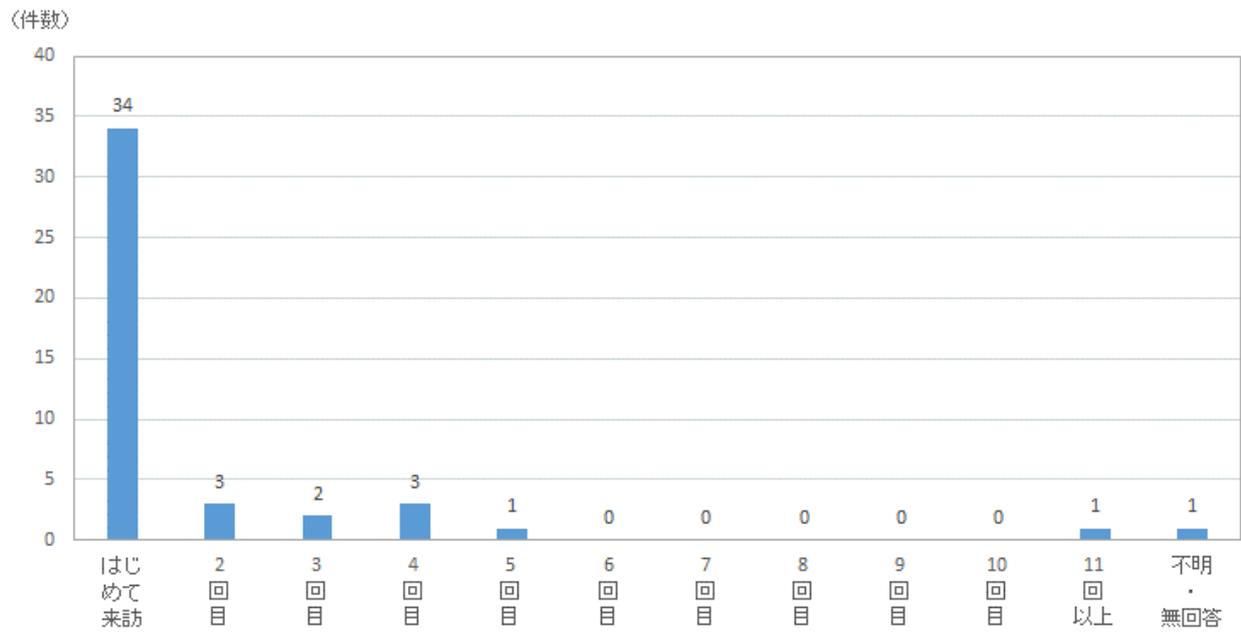


図-27 イギリス国籍: 白馬への来訪回数 (回答件数, n = 45)

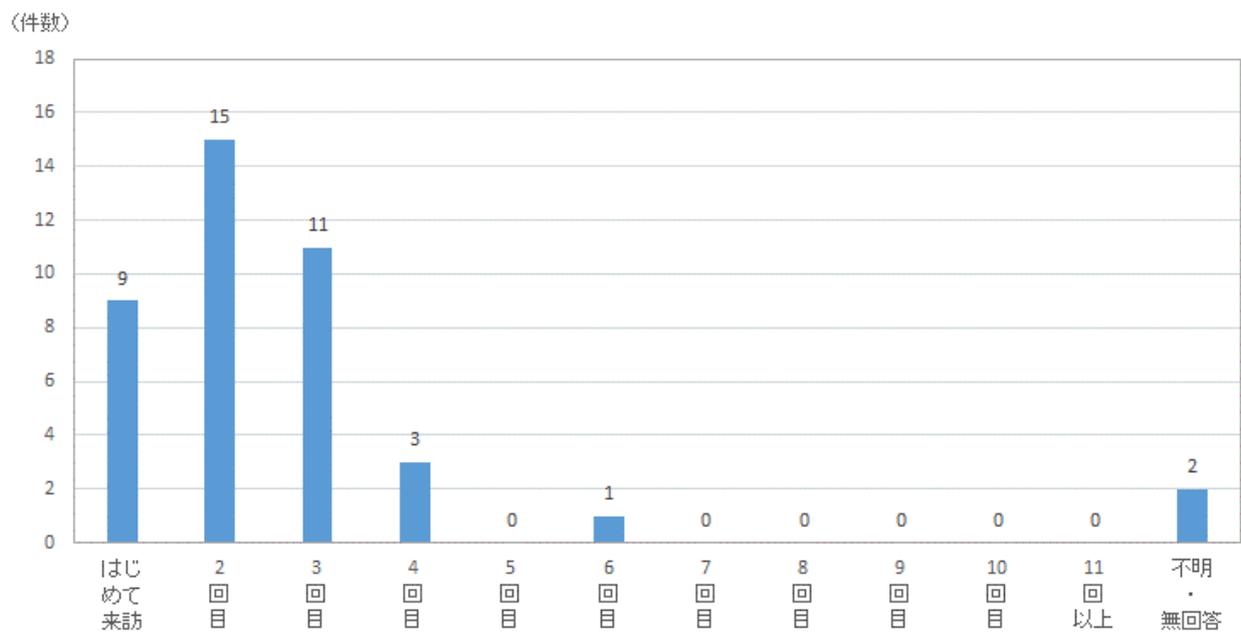


図-28 台湾国籍: 白馬への来訪回数 (回答件数, n = 41)

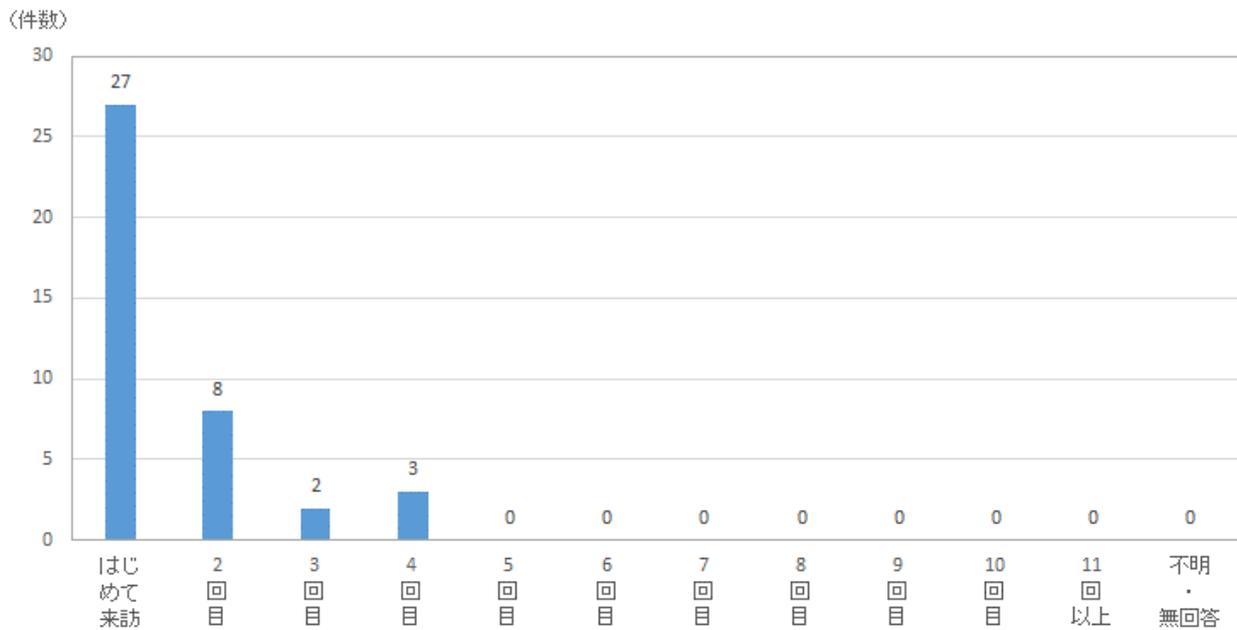


図-29 ニュージーランド国籍: 白馬への来訪回数 (回答件数, n = 40)

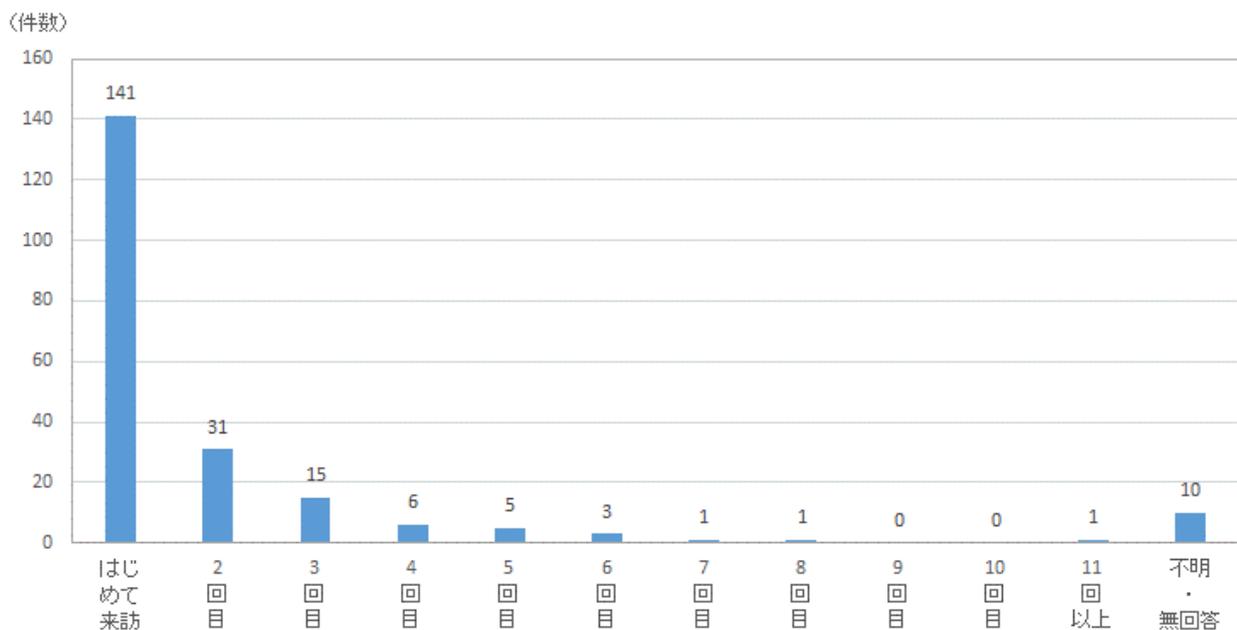


図-30 主要5ヶ国以外: 白馬への来訪回数 (回答件数, n = 214)

- ・ 白馬への来訪回数を国籍別にみると、オーストラリアの回数分布は全体平均と類似しており、この点は滞在日数と同様であった。イギリス、アメリカ合衆国は「はじめて来訪」の占める割合が、全体平均およびオーストラリアの値よりもさらに高いことが分かった。
- ・ 一方で台湾は「2回目」の回答件数をもっとも多く、また「3回目」の件数は「はじめて来訪」よりも多かった。「はじめて来訪」の回答も一定数みられたことから、来訪者のリピーター化という点においては、台湾国籍の回答者がもっとも望ましい結果を示していた。

問 8. 用具の手配

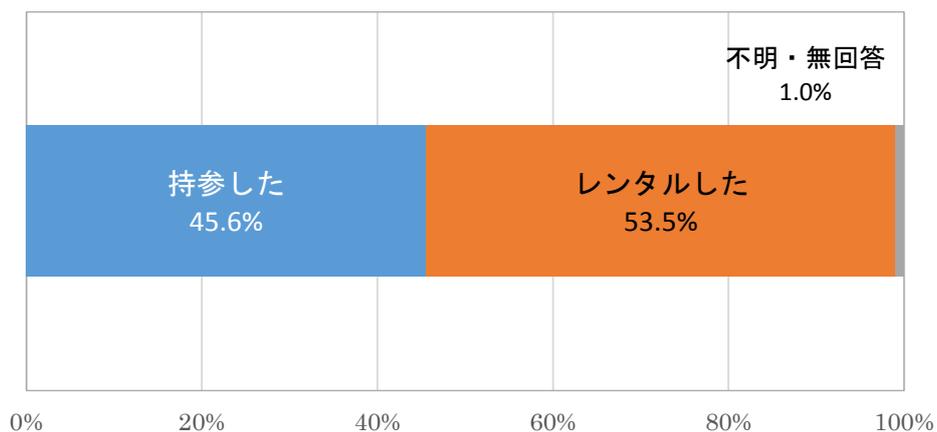


図-31 スキー・スノーボード用具の手配（全体に占める割合, n = 821）

- ・ 821 票のうち、用具の手配に関する有効回答数は 813 件であった。
- ・ レンタルが若干数上回ったものの（439 件、53.5%）、全体としてほぼ半数で拮抗した。

問 9. 旅行手配

1) 全数集計



図-32 白馬への旅行手配手段（全体に占める割合, n = 821）

- ・ 821 票のうち、旅行の手配に関する有効回答数は 813 件であった。
- ・ 全体のおよそ 8 割（652 件、79.4%）が個人手配により白馬を来訪しており、旅行会社を通じて手配を行った回答者は約 2 割（161 件、19.6%）に留まった。

2) 国籍別集計

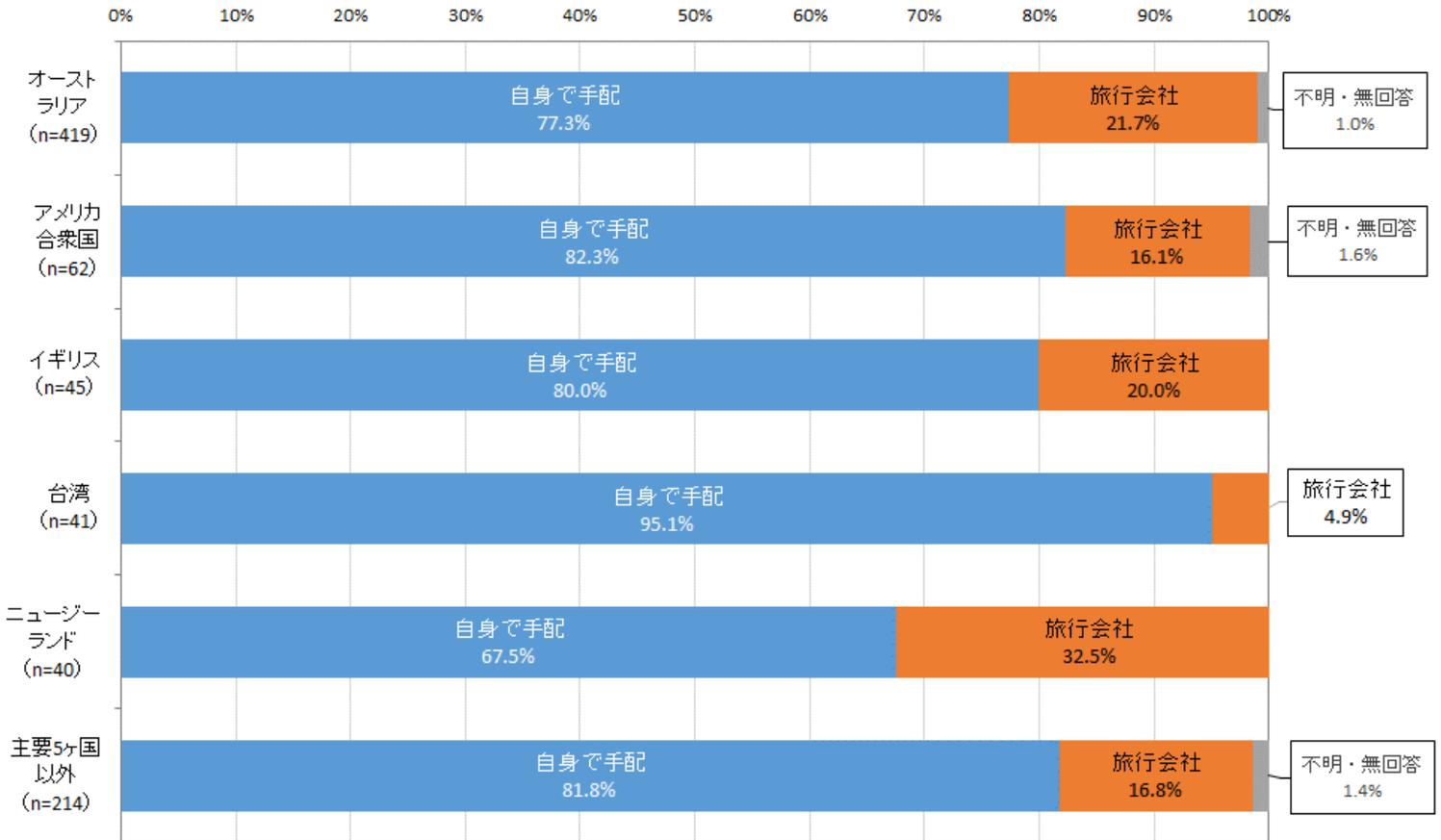


図-33 各国の旅行手配手段（各国の回答数に占める割合）

- 旅行手配の手段は、いずれの国籍においても「自身で手配」が全体の6割超を占めていた。
- もっとも高い割合を示したのは台湾であり、回答者の95%超が個人手配により白馬を来訪していた。

問 10. 白馬旅行の情報源

1) 全数集計

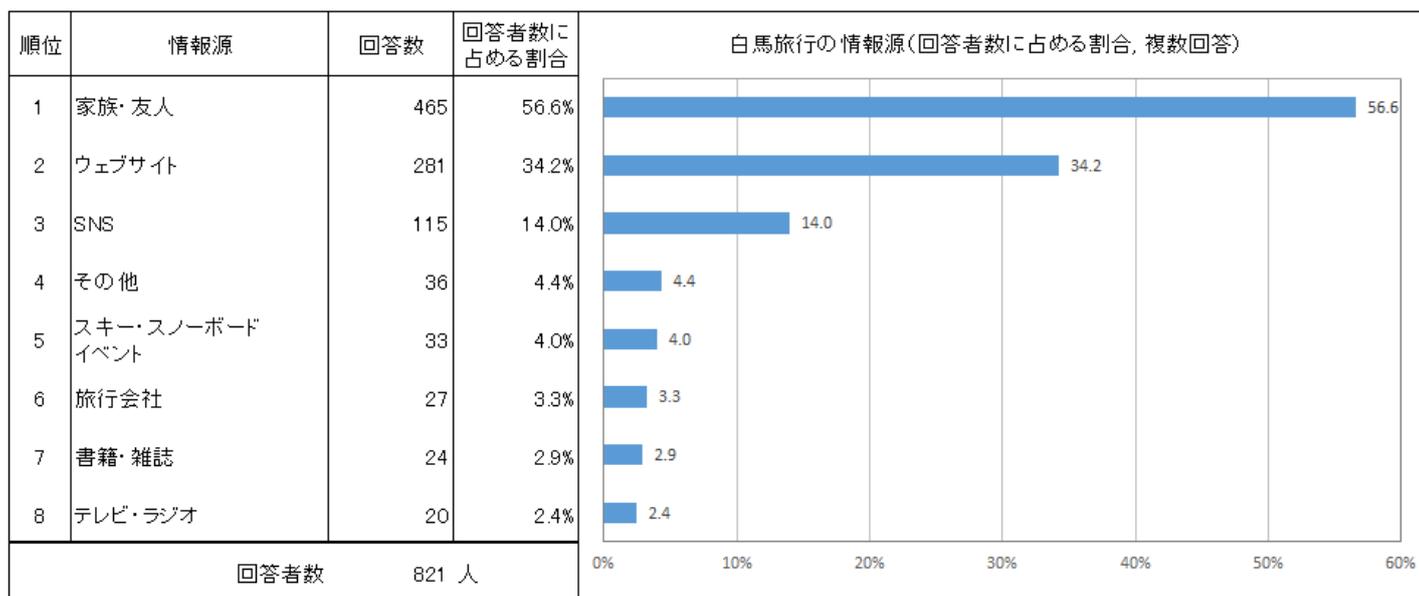


図-34 白馬旅行の情報源（回答者数に占める割合，複数回答）

- ・ 複数回答式の設定により、回答の総数は 1001 件となった。
 - ・ もっとも多く選択された情報源は「家族・友人」であり、全ての回答に占める割合は 5 割を超過した（465 件、56.6%）。2 番目には「ウェブサイト」（281 件、34.2%）が、3 番目には Twitter や Facebook に代表される「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）」（115 件、14.0%）が、それぞれ続いた。
 - ・ 一方で、「書籍・雑誌」は 24 件（2.92%）、「テレビ・ラジオ」は 20 件（2.44%）に留まった。
 - ・ 「その他」を選択した回答者は、情報収集先として Google や Powderhounds* を挙げており、本選択肢においてもインターネット利用の傾向が認められた。
- * スキー/スノーボードに特化した旅行情報ウェブサイト。数名のスキーヤー/スノーボーダーがキュレーターとなりサイトを運営する。言語は英語。<http://www.powderhounds.com/>
- ・ 全体として、家族・友人や SNS といった個人が発信源となり、旅行者自身は書籍・雑誌やテレビ・ラジオといったマス向けの媒体よりも、ウェブサイトや SNS を通じて個人的に情報を収集する傾向が認められた。白馬旅行の情報流通においては、情報発信と情報収集の双方が高度に個人化しているものと考えられる。

2) 国籍別集計

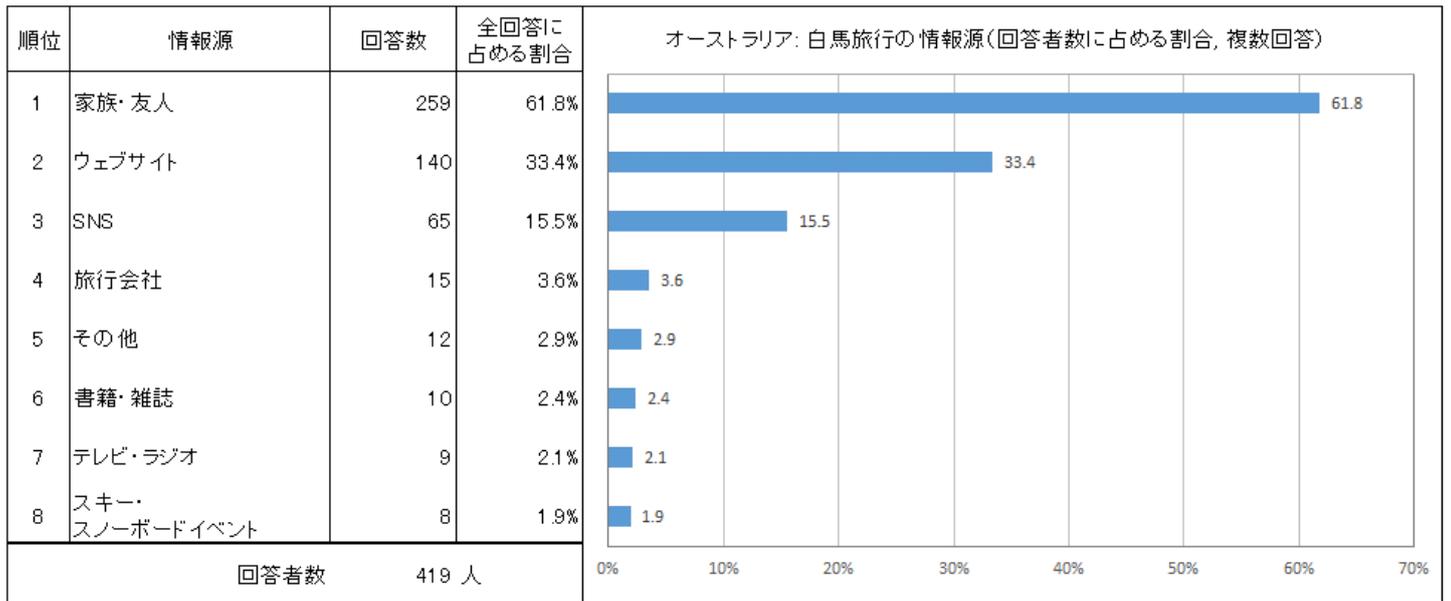


図-35 白馬旅行の情報源（オーストラリア国籍: 回答者数に占める割合, 複数回答）

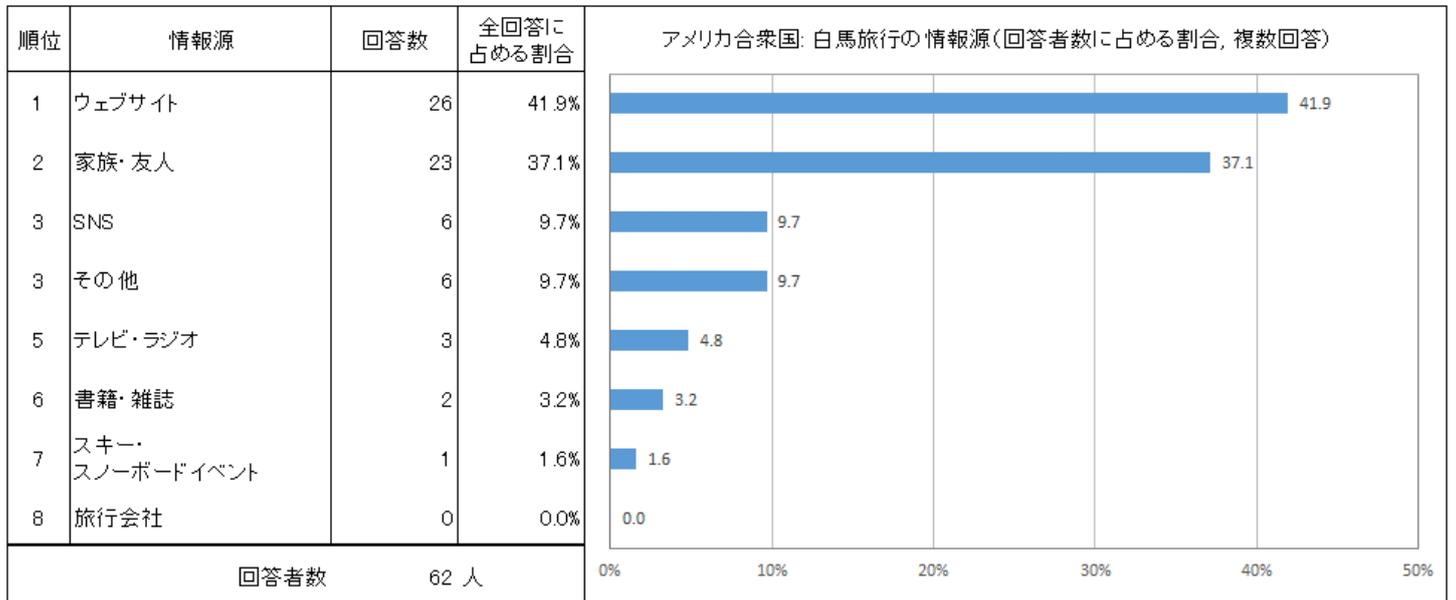


図-36 白馬旅行の情報源（アメリカ合衆国国籍: 回答者数に占める割合, 複数回答）

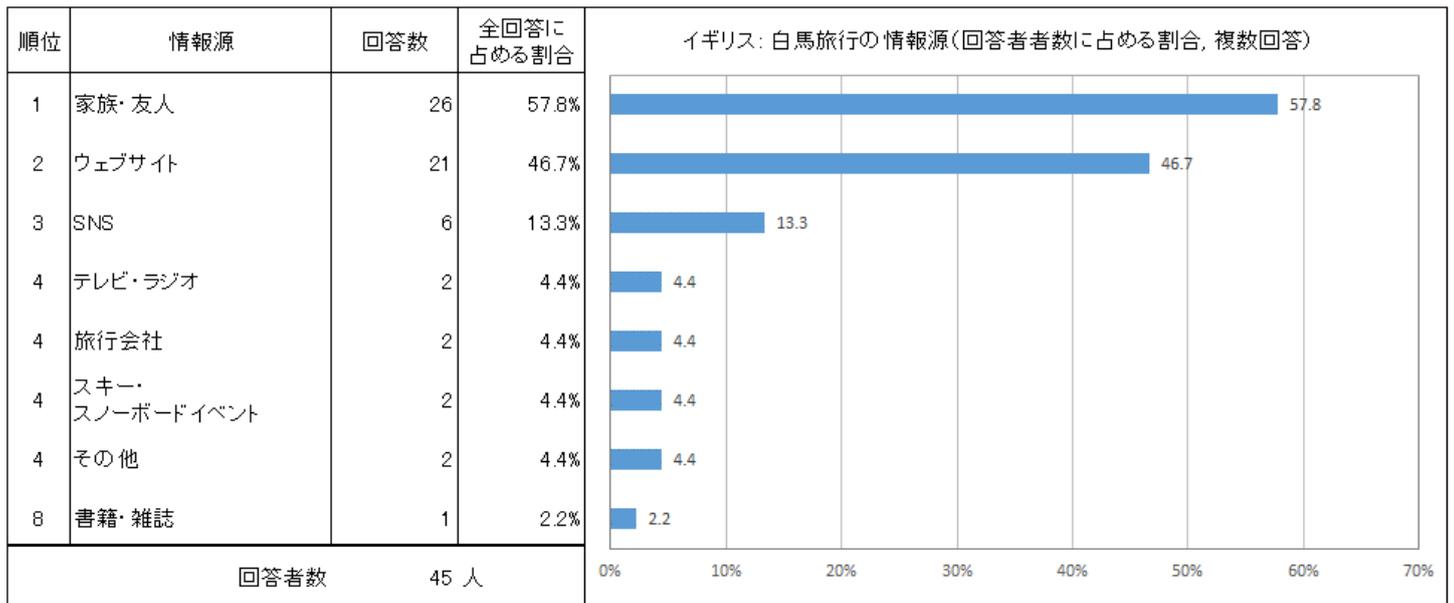


図-37 白馬旅行の情報源（イギリス国籍: 回答者数に占める割合, 複数回答）

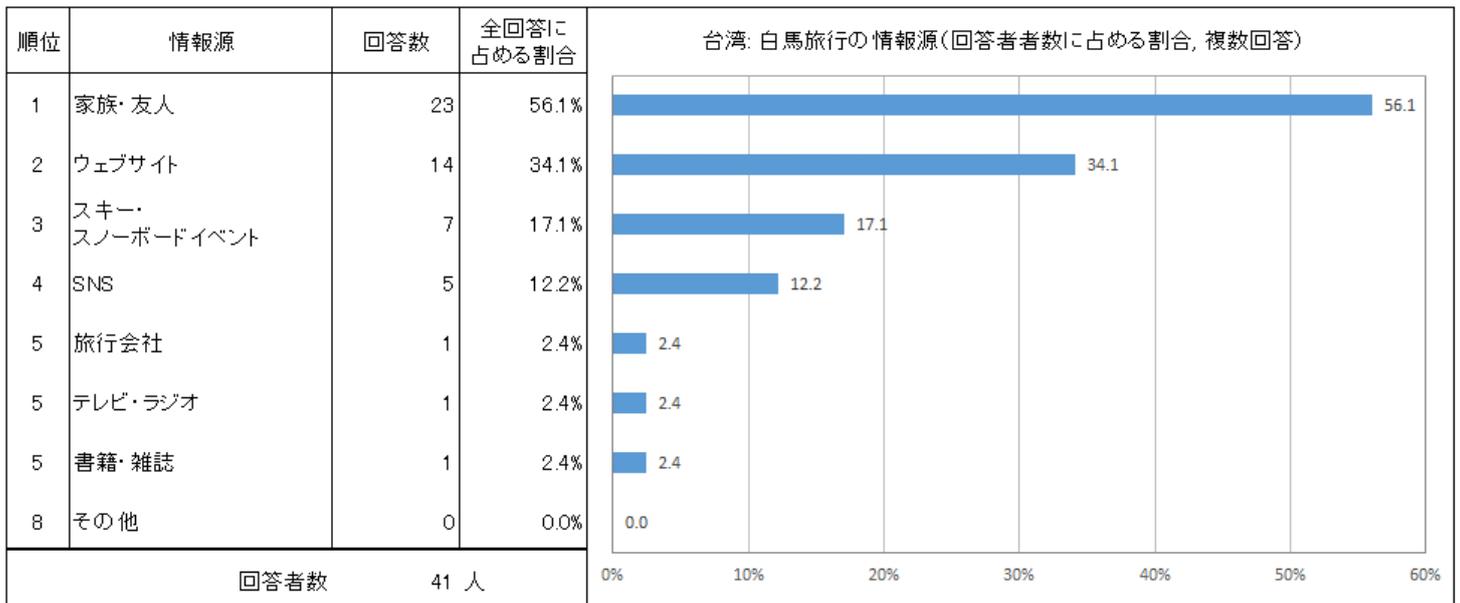


図-38 白馬旅行の情報源（台湾国籍: 回答者数に占める割合, 複数回答）

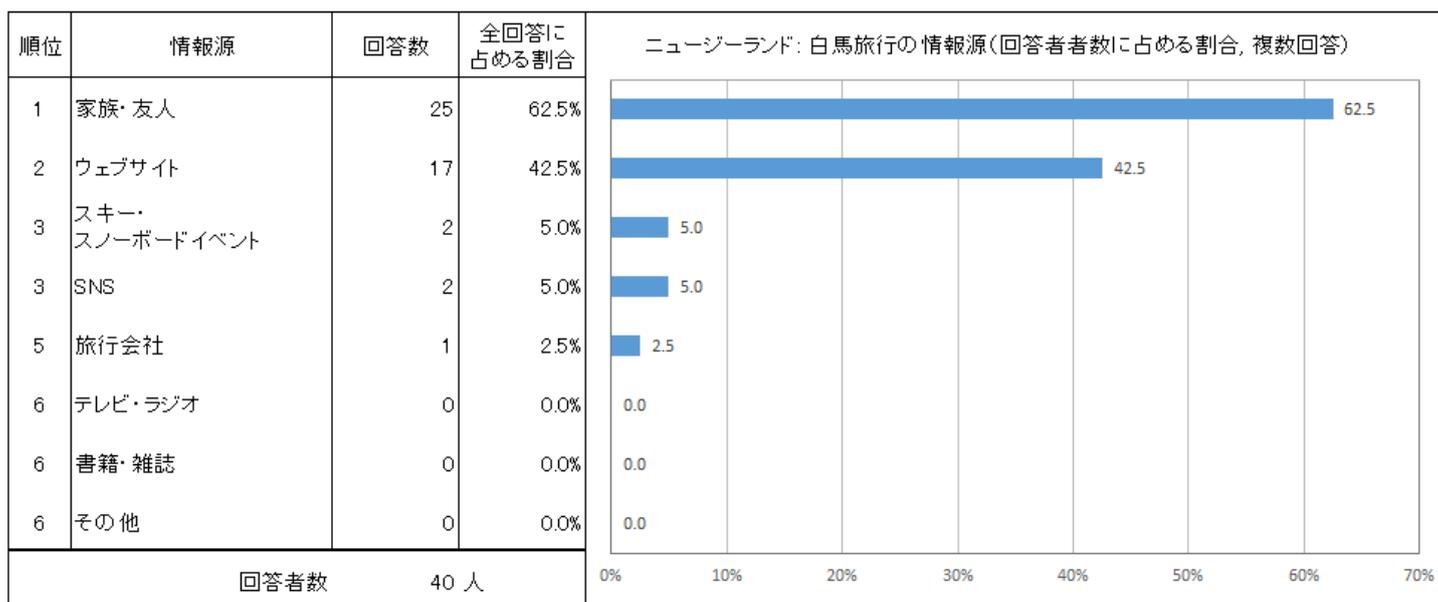


図-39 白馬旅行の情報源 (ニュージーランド国籍: 回答者数に占める割合, 複数回答)

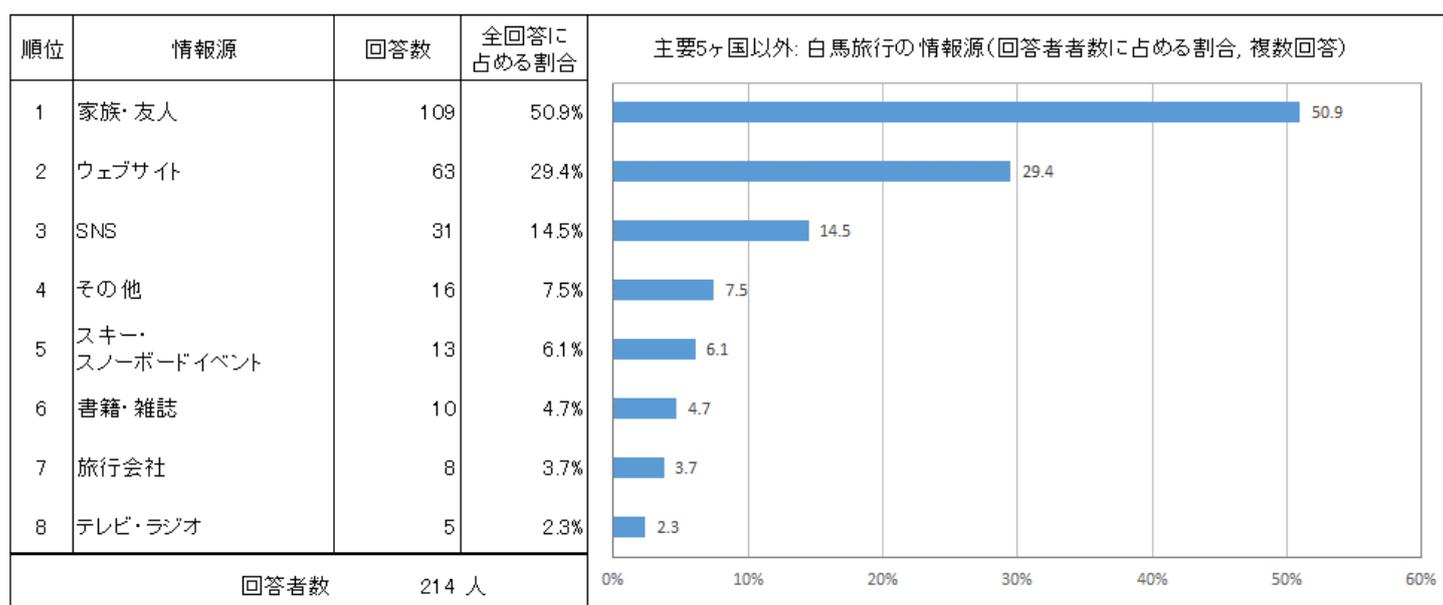


図-40 白馬旅行の情報源 (主要5ヶ国以外: 回答者数に占める割合, 複数回答)

- ・ 白馬旅行の情報源のうち、第一位および第二位はいずれの国籍においても「家族・友人」または「ウェブサイト」であり、第二位は第三位と比較して約2倍の割合を占めていた。全世界的な傾向として、情報発信および情報収集の個人化が進展していることが示唆された。「書籍・雑誌」はいずれの国でも6位以下であり、情報源としての機能が低下していることが明らかとなった。
- ・ 母集団の小ささに留意する必要があるが、台湾およびニュージーランドでは「スキー・スノーボードイベント」が3位に浮上しており、他国とは異なる傾向を示した。

問 11. 旅行先として白馬を選んだ決定的な要因

- ・ 第一に、友人など近い人からの勧めがあったことを挙げるコメントが散見された。この点は問 10 において、白馬の情報源として「家族・友人」がもっとも多く選択されていたことと同様の傾向を示していた。より積極的な理由として、友人が白馬近在に居住していることを挙げる意見もみられた。

来たことがない。多くの友人が勧めてくれた。

最高の景色。山は休日を楽しむのに適した場所。(10)

友人のアドバイス。

ロッジを持った友人がここにいる。

近くに友人が住んでいる。

- ・ 第二に、パウダースノーに代表される雪質と、東京から近いというアクセス性に言及するコメントがみられた。この点は問 2 における好意的な意見の中で、同じ要素が言及されている。これらのコメントでは「日本の」「日本文化の」等に言及するものがみられた。ウインタースポーツを行う以前に日本を旅行すること自体が重視され、その旅程の中でウインタースポーツに親しむ場所として白馬が選択されている可能性が示唆された。

日本のパウダースノー。

常に一定の量の雪があって、値段が手ごろだから。

東京からの移動、一番大きい。

素晴らしいパウダー（スノー）でのスキー。日本文化が興味深い。

たくさんの山、新鮮な雪、日本へ行く機会。

ロケーション。雪。

規模。日本における最大のスキーの町。

良い雪がある可能性が高い。東京の空港に近い。

日本を訪れてみたかった。また日本を訪れる際は、何かしらのアクティビティを入れたかった。白馬の雪は評判が高い。

シーズンのかかなり終わりの時期でも、雪が（他より）良い。3月しか仕事の休みをもらえなかった。でも落ち込んでいない！

野沢、志賀高原、斑尾、戸隠に比べて、距離が近く、車で行きやすい。またバラエティ豊か。

- ・ 一部にはリピーターからの評価もみられ、総じて好意的なコメントが寄せられていた。

家族が以前ここへ来たことがある。

前回の訪問が楽しかった。日本で勉強する息子を訪ねて。

オーストラリアからのアクセス。前回の滞在が良かった。

前回の訪問で、良い印象を受けた。

問 12. 各スキー場への訪問回数

- ・ 本設問は、白馬バレー内の 9 スキー場に対する訪問日数を問うものである。
- ・ 同一のデータを用いて、以下 3 種の分析を行った。

12. How many days have/will you visit each mountain during this trip (write applicable numbers):

Jiigatake	Kashimayari	Sanosaka	Goryu/47	Happo-One	Iwatake	Tsugaike	Novikura	Cortina
			2	1	1	2		

図-41 問 12 の回答例

1. 訪問率

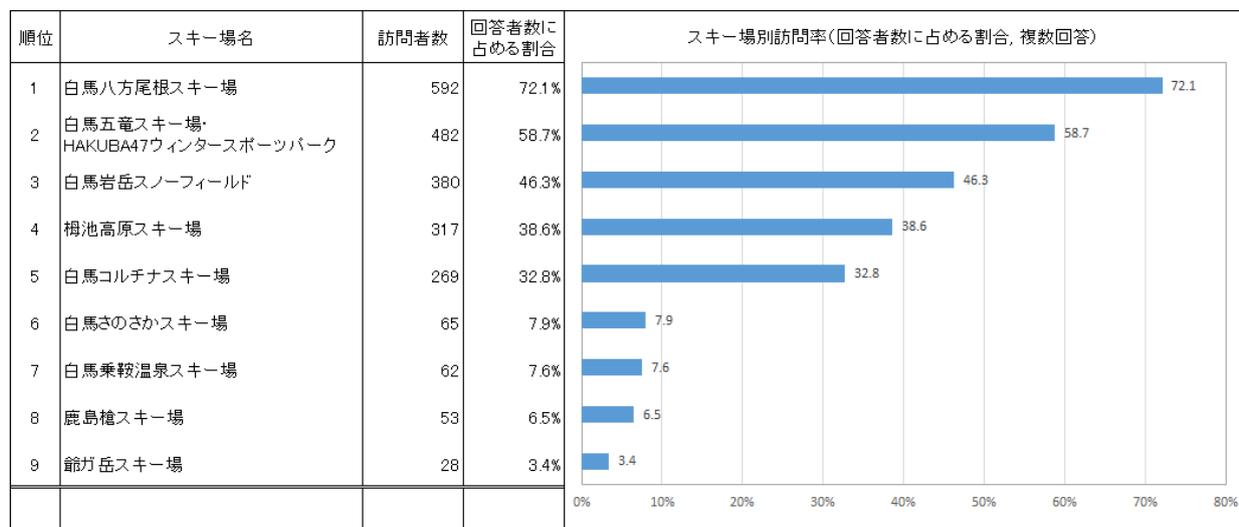


図-42 スキー場ごとの訪問率

- ・ 回答者 821 名が、それぞれのスキー場に訪問したか否かを集計した。この際、訪問の日数は考慮しなかった。この集計により、任意のスキー場に回答者の何割が滑りに行ったかを読み取ることができる。割合が高いほど、白馬來訪者の多くが滑りに行くメジャーな（ポピュラーな）スキー場であると考えられる。
- ・ 結果を概観すると、全体の 7 割超が訪問するスキー場（八方尾根スキー場）、およそ半数が訪問するスキー場（五竜スキー場 / HAKUBA47 ウィンタースポーツパーク、岩岳スノーフィールド）、3 割から 4 割程度が訪問するスキー場（栂池高原スキー場、コルチナススキー場）、1 割未満が訪問するスキー場（さのさかスキー場、乗鞍高原スキー場、鹿島槍スキー場、爺ガ岳スキー場）、以上 4 種の類型が認められた。

2. 累計訪問日数

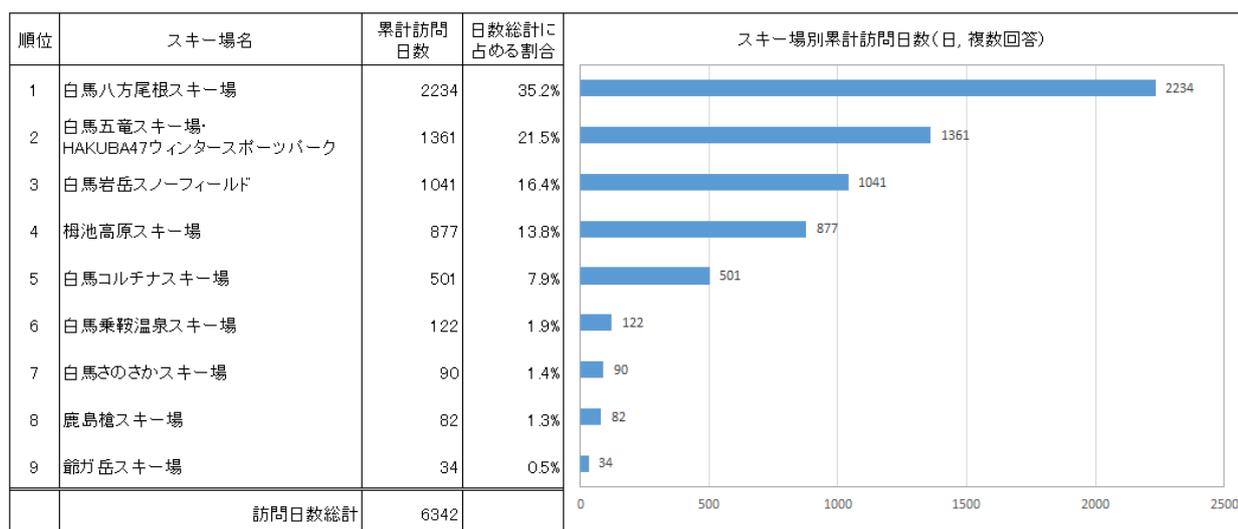


図-43 スキー場ごとの累計訪問日数

- それぞれのスキー場について、訪問日数の総計を算出した。回答者 821 名の訪問日数総計は 6342 日であったが、それらがどのスキー場に、何割配分されたかを読み取ることができる。割合が高いほど、外客需要を多く受け入れているスキー場といえる。
- 結果を概観すると、累計訪問日数の序列は図-42 とほぼ同様であったが、乗鞍温泉スキー場とさのさかスキー場の順位に逆転がみられた。全体的な傾向をみると、図-42 において栂池高原スキー場は下位のコルチナススキー場に近い数値を示したが、本集計においては総計に占める割合が 10% を超え（877 日、13.8%）、上位の岩岳スノーフィールドに近い数値を示した。

3. 訪問者一人あたりの平均訪問日数

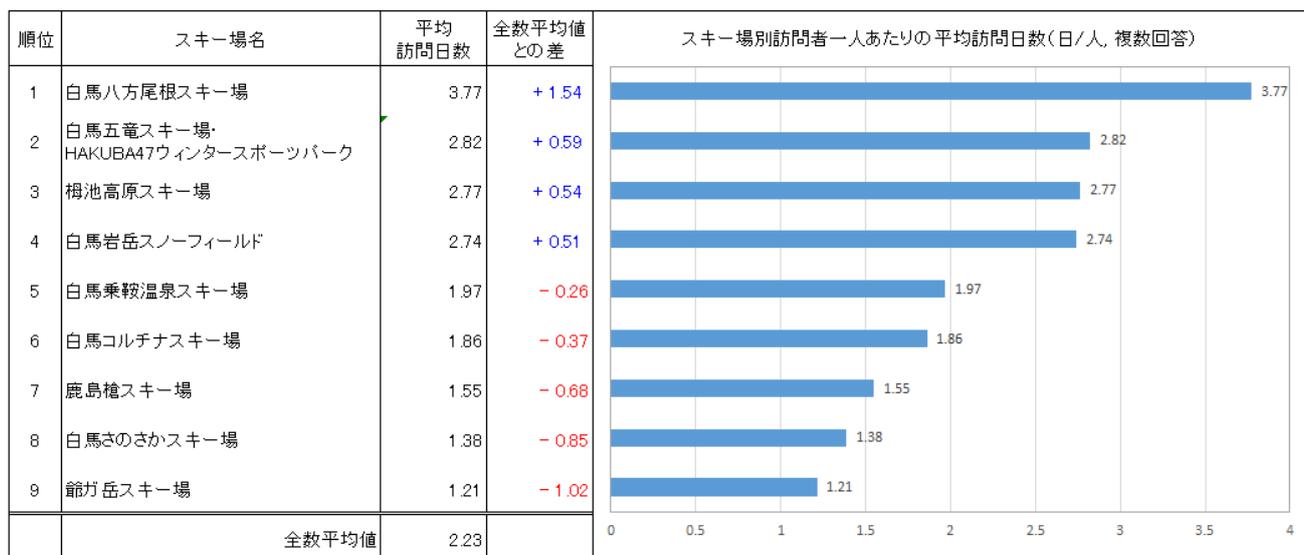


図-44 スキー場ごとの訪問者一人あたり平均訪問日数

- 図-13 および図-14 の集計に用いたデータから、訪問者一人が平均して何日、それぞれのスキー場に行ったかを算出した。具体的には、それぞれのスキー場について以下のように平均訪問日数を算出した。

$$A \text{ スキー場の平均訪問日数 (日/人) } = A \text{ スキー場の累計訪問日数} / A \text{ スキー場の訪問者数}$$

すなわち「観光客が白馬滞在中に、そのスキー場へ平均して何日(回)訪問するか」を示す数値であり、日数が多いほど「滞在中のリピート率」が高いスキー場であるといえる。

- 結果を概観すると、平均訪問日数の序列は図-42 および図-43 と比較して変化がみられた。乗鞍温泉スキー場、鹿島槍スキー場、柵池高原スキー場は順位が上昇し、さのさかスキー場、コルチナススキー場の順位は下降した。
全体的な傾向をみると、柵池高原スキー場は下位の岩岳スノーフィールドならびに上位の五竜スキー場・HAKUBA47 ウィンタースポーツパークとほぼ同様の数値に近い数値を示した。

問 13. 白馬での滞在先

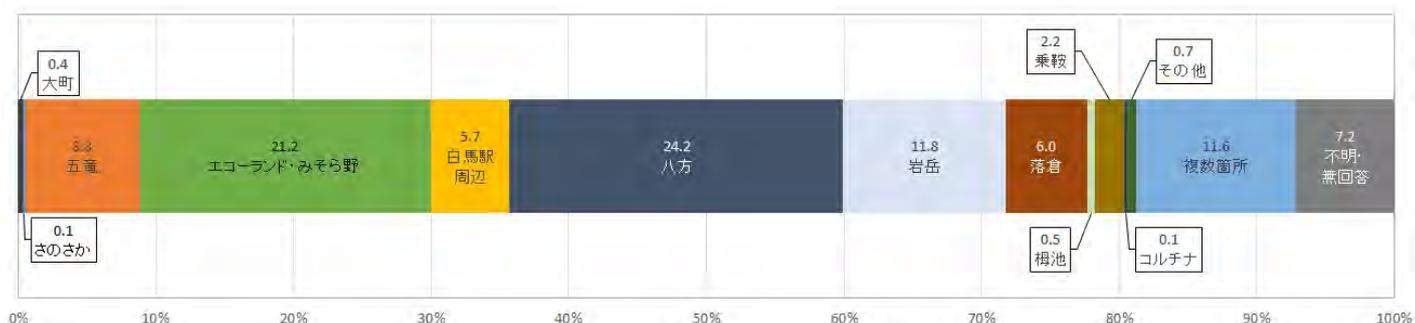


図-45 白馬での滞在先（全体に占める割合、n = 821）

- 821 票のうち、白馬での滞在先に関する有効回答は 762 票であった。
- もっとも回答件数の多かった滞在先は八方（199 件、24.2%）であり、2 番目に回答数の多かったエコランド・みそら野（174 件、21.2%）とともに、全体の 2 割超を占めた。両地域とも、問 12 結果において訪問者数、訪問日数の多かった八方尾根スキー場に近接するエリアであり、基本的に目的地とするスキー場の近在に投宿する傾向があるものと考えられる。
- 第二のグループとして全体の 1 割前後を占める岩岳（97 件、11.8%）および五竜（68 件、8.28%）を指摘することができるが、複数箇所（95 件、11.6%）の回答数が、両者に比肩する数値を示した。複数の宿を移動しながら長期滞在をする回答者が一定数存在し、その際には同じエリア内の別の宿ではなく、異なるエリアの宿が選択される傾向があるものと考えられる。

問 14. 白馬滞在中の訪問先

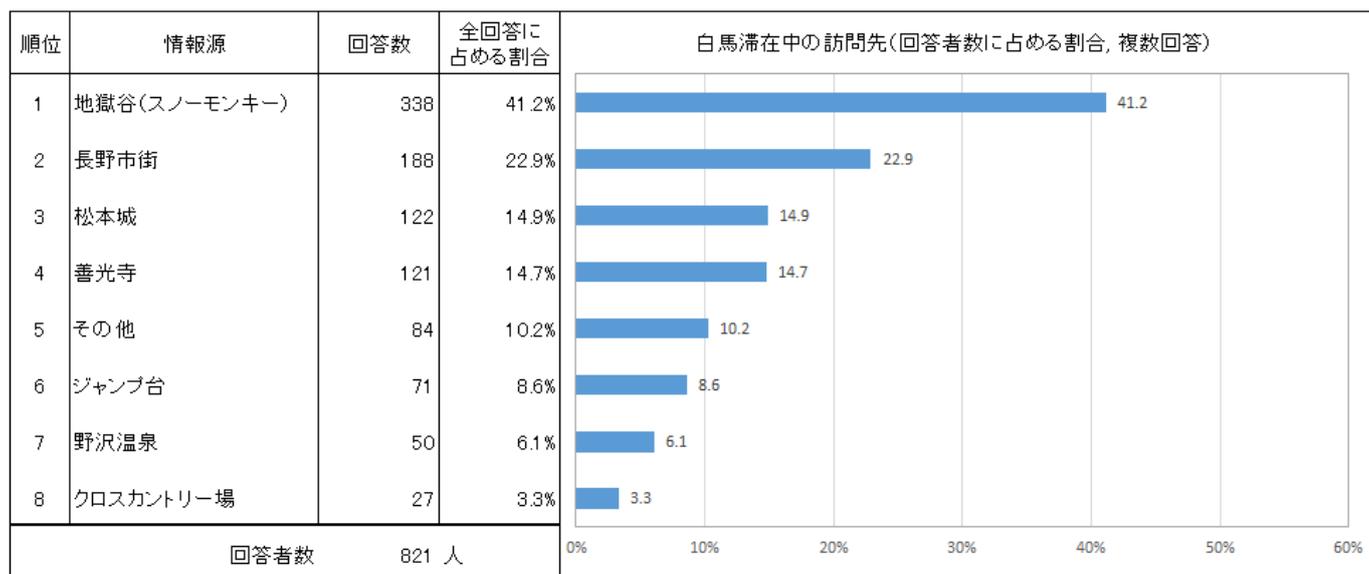


図-46 白馬滞在中の訪問先（回答者数に占める割合，複数回答）

- ・ 複数回答式の設定により、回答の総数は 1001 件となった。
- ・ もっとも多く選択された訪問先は地獄谷野猿公苑であり、全回答に占める割合は 4 割を超過した（338 件、41.2%）。同地は **Snow Monkey** の名で海外においても知名度が高い。白馬村からの所要時間は、乗用車で 1 時間 45 分程度である。
- ・ ほぼ同様の距離帯に野沢温泉が存在するが、回答数は 50 件（6.09%）に留まった。
- ・ 次いで多く選択された訪問先は長野市街であり、全回答のおよそ 2 割を占めた（188 件、22.9%）。善光寺も立地上は同地点であるが、回答数はやや低下し、全体の 15% 程度であった（121 件、14.7%）。
- ・ この結果は松本城の回答数（122 件、14.9%）がほぼ同値であることから、寺社仏閣や城郭といった伝統的な日本文化を反映した文物を訪問に選択する外客が一定数存在し、そのボリュームは全体の 15% 程度であることが想定される。
- ・ 長野市街および善光寺の来訪所要時間は乗用車で 1 時間程度、同じく松本城は 1 時間 30 分程度である。
- ・ 「その他」の具体例として「温泉」が複数みられた。また少数ながら「スノーシュー」や「スキーツーリング」といった回答もみられ、白馬に滞在しながら白馬以外の地域でもウインタースポーツを楽しむ行動の存在が示唆された。
- ・ ジャンプ台、クロスカントリー場といった白馬村内の施設は、いずれも全回答の 1 割以下にとどまった。この数値は「その他」よりも低いことから、訪問先として積極的に選択されているとは言い難い状況であるものと考えられる。

問 15. 白馬来訪前後の滞在

1. 滞在の有無

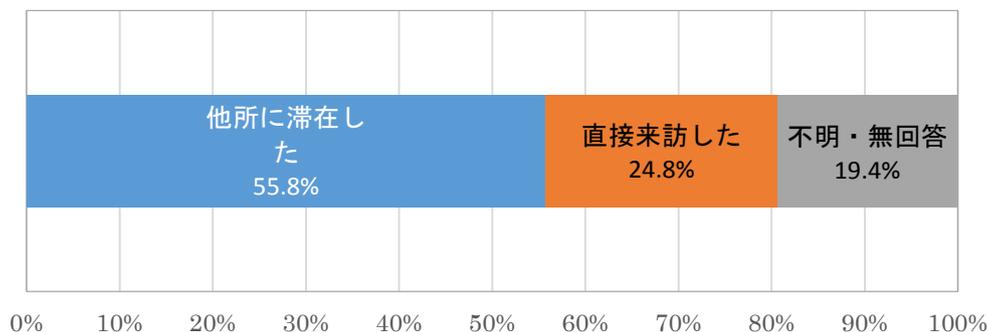


図-47 白馬來訪前の他所滞在有無（全体に占める割合, n = 821）

- ・ 白馬來訪前に、他の場所に滞在したか否かに対する質問の有効回答数は、662 件であった。
- ・ 回答者のおよそ半数（458 件、55.8%）が、他の滞在先を経由して白馬に来訪していた。

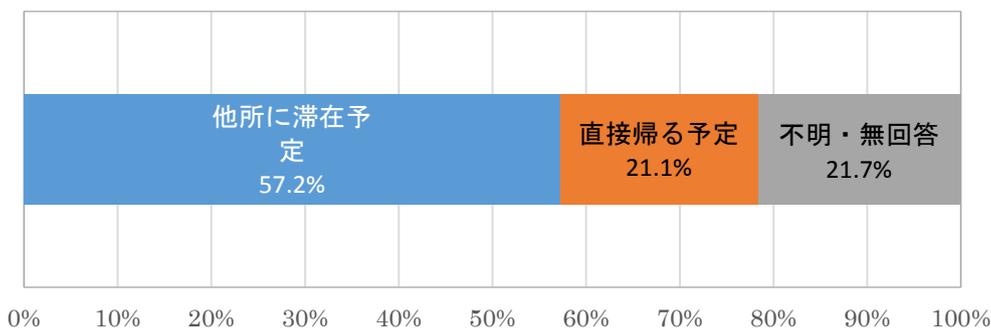


図-48 白馬來訪後の他所滞在有無（全体に占める割合, n = 821）

- ・ 白馬來訪後に、他の場所に滞在する予定に対する質問の有効回答数は、643 件であった。
- ・ 回答者のおよそ半数（470 件、57.2%）が、他の滞在先を経由した後の帰国を予定していた。
- ・ 滞在前と滞在后の結果に大きな差異は認められなかった。白馬は、日本に来て最初に滞在する場所、あるいは日本を発つ直前に滞在する場所として選択される傾向はないものと考えられる。

2. 滞在先

- 具体的な滞在先について見ると、白馬滞在前と滞在後で挙げられる地名に顕著な差は認められなかった。
- 滞在先としては、東京がもっとも多かった。ついで大阪、京都、広島といった関西方面と白馬を組み合わせる、周遊型の旅程も複数みられた。その他、少数ながら沖縄、九州、北海道を挙げる回答もみられた。
- 北海道を訪問する回答者の中には、ニセコ、ルスツといった地名を挙げる例も存在した。訪問先の特性から、白馬の滞在前あるいは滞在後にも、場所を変えてウインタースポーツを楽しむ旅程の存在が示唆された。同じ指針から選択されたと考えられる滞在先として、妙高も挙げられていた。
- ここに挙げたようなウインタースポーツに熟練した回答者は、日本国内のスノーリゾート周遊の一地点として白馬を選択し、それらのスノーリゾートとの比較という厳しい観点から白馬を評価するものと考えられる。

問 16. 消費単価

(円/人・日)

国籍 \ 項目	宿泊費	食事代	交通費	娯楽費(スキー関係)	娯楽費(その他)	買い物	その他	合計額
全体	12,723	3,692	947	3,084	598	1,109	469	22,622
オーストラリア	11,785	4,019	787	3,068	590	1,103	486	21,838
アメリカ合衆国	14,812	3,269	1,594	2,672	764	894	784	24,790
イギリス※	14,443	2,955	662	5,151	398	1,890	223	25,721
ニュージーランド※	12,164	3,807	326	1,290	443	542	1,516	20,088
台湾※	9,055	1,850	1,371	3,961	7	1,153	44	17,441
その他	14,812	3,583	1,203	2,969	772	1,122	253	24,714

※印は消費額算出に当たって金額が記入されたサンプル数が少ないため、扱いには注意が必要。

図-49 全体・国籍別消費単価

- ・回答者 1 人・1 日当たりの消費単価は全国籍で 22,622 円となった。
- ・国籍別に見た回答者数の上位 5 ヶ国となるオーストラリア、アメリカ合衆国、イギリス、ニュージーランド、台湾を比較すると、イギリスが 25,721 円でもっとも高く、アメリカ合衆国が 24,790 円で続いている。また、オーストラリアは 21,838 円、ニュージーランドは 20,088 円と、やや低くなっている。また、台湾は 17,441 円となった。

※ただし、イギリス、ニュージーランド、台湾については、消費額算出に当たって金額が記入されたサンプル数が少ない項目が多いため、扱いには注意が必要である。

国籍 \ 項目	宿泊費	食事代	交通費	娯楽費(スキー関係)	娯楽費(その他)	買い物	その他
全体	222	380	259	320	79	198	61
オーストラリア	133	210	142	183	44	105	31
アメリカ合衆国	21	27	23	24	7	13	10
イギリス	12	19	11	13	4	11	4
ニュージーランド	7	15	10	8	5	8	3
台湾	3	18	16	17	1	14	3
その他	46	91	57	75	18	47	10

図-50 消費額の記入があった回答数 (参考)

<消費単価集計に当たってのルール>

- 消費額の算出にあたっては
 - ① 個別額（宿泊費、飲食費、etc.）を円換算（※1）。
- ※1 世界通貨基金（IMF）の2017年1月～3月の対SDRレートを参照
http://www.imf.org/external/np/fin/data/param_rms_mth.aspx
ただし、香港ドルのみ米国連邦準備制度理事会（FRB）の対米ドルレートを参照。
<https://www.federalreserve.gov/releases/H10/hist/>
- ② 各消費額（円）を、記載人数で割り、1名当たりの各項目消費額を算出。
- ③ 1名当たりの各消費額を「Q6.滞在日数」（「d1.娯楽費（リフト券、レンタル代、スキー・スノーボード教室費用等）」に関しては、「Q12.ゲレンデ訪問日数」の合計日数）で割り、1人日当たりの各項目消費額を算出。
- 項目毎に単位がバラバラの場合（本来、総額を記載であるが、「日」「週」「回」という単位が混在している例あり）
 - ⇒ 「a.宿泊費」「b.飲食費」「c.交通費」に関しては、「Q6.滞在日数」を掛けて算出。
 - ⇒ 「d1.娯楽費（リフト券、レンタル代、スキー・スノーボード教室費用等）」に関しては、「Q12.ゲレンデ訪問日数」の合計日数を掛けて算出。
 - ⇒ 「d2.その他娯楽費（ガイドツアー、入場料等）」「e.ショッピング」「f.その他支出」は、多角的に判断。
- 記載額が総額ではなく、1日当たりの記載と思われる場合
 - ⇒ 「a.宿泊費」「b.飲食費」「c.交通費」は、「Q6.滞在日数」を掛けて算出。
 - ⇒ 「d1.娯楽費（リフト券、レンタル代、スキー・スノーボード教室費用等）」は、「Q12.ゲレンデ訪問日数」の合計日数を掛けて算出。
 - ⇒ 「d2.その他娯楽費（ガイドツアー、入場料等）」「e.ショッピング」「f.その他支出」は、多角的に判断。
- 何人分の額か記載のない場合
 - ⇒ 消費額の集計対象外。
- 通貨単位が不明な場合
 - ⇒ 多角的に判断して、該当通貨が分かれば補筆。
 - ⇒ 上記対応が困難であれば、消費額の集計対象外。
- 範囲記載（例：2,000～4,000）となっている場合
 - ⇒ 中間値とする。
- 白馬での滞在日数・ゲレンデ滞在日数の記載がない場合
 - ⇒消費額の集計対象外。
- 通貨単位が混在している場合
 - ⇒ 日本円換算段階で統一。
- 各項目の金額が極端に低かったり、高かったりするサンプル（宿泊費 3000 円/人日以下、50,000 円/人日以上、食事代 30,000 円/人日以上 など）は集計対象外。

付属資料 アンケート調査票

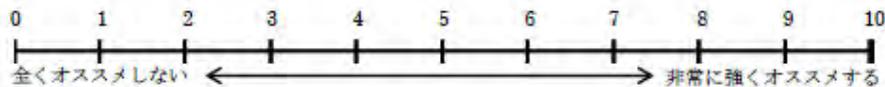
白馬バレー来訪者調査

日本を代表するスノーリゾート、白馬バレーにお越しいただきありがとうございます。サービス向上のために皆様の声をお聞かせ下さい。全てのご回答は匿名で部外秘のものとします。

ご自身について

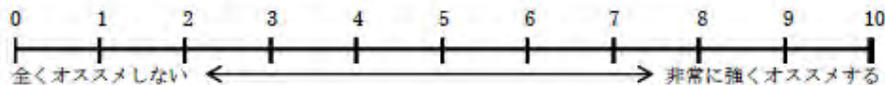
国籍:	居住国:	ご年齢:	性別:	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
-----	------	------	-----	-----------------------------	-----------------------------

1. あなたはどの程度、ご友人や同僚に白馬バレーを訪れることをオススメしますか？最も当てはまる数字に丸をお付け下さい。(0= 全くオススメしない, 10= 非常に強くオススメする).



2. 問1のご回答の理由をご記入下さい。白馬バレーをオススメしていただけるようにするために、私達にできることは何でしょうか？具体的にご記入いただくと幸いです。(自由記述)

3. あなたはどの程度、ご友人や同僚に当宿泊施設をオススメしますか？最も当てはまる数字に丸をお付け下さい。(0= 全くオススメしない, 10= 非常に強くオススメする).



4. 問1のご回答の理由をご記入下さい。白馬バレーをオススメしていただけるようにするために、私達にできることは何でしょうか？具体的にご記入いただくと幸いです。(自由記述)

5. 白馬バレーでの滞在をより良いものにするためには、どのような点を改善したら良いでしょうか？次の選択肢 1~11の中から、優先課題として挙げられる順に 最大3つまでご記入下さい。

優先課題①: _____	優先課題②: _____	優先課題③: _____
--------------	--------------	--------------

- | | | |
|-------------------|------------|-------------|
| 1. スキー・スノーボードのリフト | 5. アクティビティ | 9. 決済環境 |
| 2. 白馬バレーまでのアクセス | 6. 案内表記 | 10. その他 |
| 3. 白馬バレー内での交通手段 | 7. 景観 | (_____) |
| 4. 飲食店 | 8. ウェブ情報 | 11. 特に課題はない |

6. 白馬での滞在日数は何日ですか？ _____日
7. これまで白馬には何回来訪されましたか？ _____回 (今回の旅行を除きます)
8. スキー・スノーボードはご自身のものを使いますか？
はい いいえ (レンタル店名: _____)
9. 今回の旅行(宿泊、リフト券、交通手段)は旅行会社で手配したものですか？それともご自身で手配したものですか？
ご自身で手配 旅行会社で手配(旅行会社名: _____)

10. 海外でスキー・スノーボードをするための行き先決定に最も影響を与えるものは何ですか？ウェブサイト、本・雑誌、その他の場合は具体名をご記入下さい。

- テレビ・ラジオ スキー・スノーボードイベント 家族・友人 旅行会社
 ウェブサイト (_____) SNS (Facebook, etc) 本・雑誌 (_____)
 その他 (_____)

11. 今回、旅行先として白馬を選んだ決定的な要因は何ですか？(自由記述):

--

12. 今回の旅行中、下記のそれぞれのスキー場に何日間滞在しましたか・滞在する予定ですか？(日数をご記入下さい):

爺ヶ岳	鹿島槍	白馬さのさか	白馬五竜・ Hakuba47	白馬八方尾根	白馬岩岳	裾花高原	白馬静寂	白馬コルチナ ・ヤナバ

13. 白馬滞在中に行った場所・行く予定の場所を教えてください。

- 地獄谷野猿公苑 松本城 善光寺 野沢温泉 長野市街
 クロスカントリー場 ジャンプ台 その他(具体的な場所の名前: _____)

14. 白馬来訪の前後に日本の他の場所へ行きましたか・行く予定ですか？

- ①白馬來訪前: はい(場所: _____ 滞在日数: _____) いいえ(空港から直接来訪した)
 ②白馬來訪後: はい(場所: _____ 滞在予定日数: _____) いいえ(空港へ直接向かう)

15. 今回の白馬滞在中にあなたが支出した・する予定の金額について、当てはまるものを全てチェックの上、金額をご記入下さい。注) ツアー料金及び帰国後自国での販売目的で購入したのものに関する支出は除いて下さい。

何人分の金額を記入しますか？(子供を含みます)	_____ 人分
通貨	<input type="checkbox"/> 日本円 <input type="checkbox"/> その他 (_____)

支出費目		支出あり	支出金額
a. 宿泊料金(旅行前決済を含む)		<input type="checkbox"/>	
b. 飲食費		<input type="checkbox"/>	
c. 白馬での交通費(バス、タクシー等)		<input type="checkbox"/>	
d. 娯楽サービス費	d1. スキー・スノーボードリフト券、スキー・スノーボードレンタル、スキー・スノーボード教室 等	<input type="checkbox"/>	
	d2. その他の娯楽サービス費(ガイドツアー、施設入場料、等)	<input type="checkbox"/>	
e. 買い物代		<input type="checkbox"/>	
f. その他の支出 (_____)		<input type="checkbox"/>	

16. 白馬での滞在に関して、良かった点・悪かった点がもしありましたらご記入下さい(問5に関する理由やアイデアでも結構です)(自由記述)

--

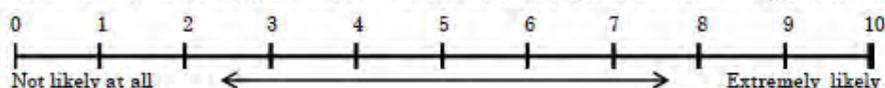
Hakuba Valley Visitor Questionnaire

Thank you for visiting Japan's premier snow resorts, Hakuba Valley. Please provide your sincere feedback so that we can further improve our service. All answers will be anonymous and confidential.

About yourself

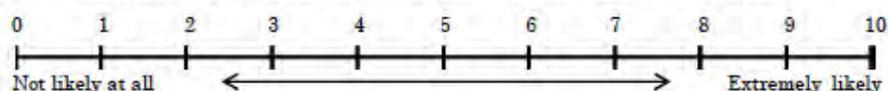
Nationality: _____ Country of residence: _____ Age: _____ Gender: M F

1. How likely are you to recommend visiting Hakuba Valley to a friend or colleague? Please answer on a scale 0-10 (0= Not likely at all, 10= extremely likely: please circle the applicable number).



2. Please describe the reasons for the score above and what we can do to increase your likeliness to recommend Hakuba Valley. Detail description is greatly appreciated. (free answer)

3. How likely are you to recommend this hotel to a friend or colleague? Please answer on a scale 0-10 (0= Not likely at all, 10= extremely likely: please circle the applicable number).



4. Please describe the reasons for the score above and what we can do to increase your likeliness to recommend this hotel. Detail description is greatly appreciated. (free answer)

5. What kind of elements do you think we should improve to make your stay better in Hakuba Valley? Please choose up to 3 elements from the below (1~11) according to the priority.

Priority #1: _____ Priority #2: _____ Priority #3: _____

- | | | |
|--|---------------------------|-------------------------|
| 1. Ski/snowboard lifts | 5. Activities | 9. Payment system |
| 2. Access to Hakuba Valley | 6. Signposting | 10. Other (_____) |
| 3. Transportation within Hakuba Valley | 7. Landscape | 11. No obvious problems |
| 4. Restaurants | 8. Information on the Web | |

6. Length of stay in Hakuba: _____ days
7. How many times have you visited Hakuba Valley before: _____ times (excluding this trip)
8. Do you ski/snowboard with your own equipment? Yes No (Rental Shop: _____)
9. Did you arrange this trip (accommodation, lift pass and transfer) by travel agent or by yourself?
By myself By travel agent (agent name: _____)
10. The most influential media when you decide destinations to ski/snowboard abroad. Please specify the name of media if it is website, book, magazine, or others:
TV/Radio Ski/Snowboard Event Family/Friends Agent Website (_____)
SNS (Facebook, etc) Book/Magazine (_____) Other (_____)

11. Critical reasons you chose Hakuba as a destination for this time (free answer):

--

12. How many days have/will you visit each mountain during this trip (write applicable numbers):

Jiigatake	Kashimayari	Sanosaka	Goryu/47	Happo-One	Iwatake	Tsugaike	Norikura	Cortina

13. Places you went/ plan to go during Hakuba stay:

- Snow Monkey
 Matsumoto castle
 Zenkoji Temple
 Nozawa
 Nagano town
 Cross country
 Jump stadium
 Other (please specify: _____)

14. Did/Will you go to other place of Japan before/after coming to Hakuba?

- ① Before: Yes (Place: _____ # of days : _____)
 No (direct from airport)
 ② After : Yes (Place: _____ # of days : _____)
 No (direct to airport)

15. Please tick all the items you've spent/will spend money on during your current stay in Hakuba Valley. Please enter the amount you've spent/will spend on each item you ticked. [Note: Please exclude the tour charges and costs of items which you purchased to re-sell in your own country.]

The spending recorded is for how many persons?(including children)	_____ Person(s)
Currency <input type="checkbox"/> Japanese yen <input type="checkbox"/> Other (_____)	

Spending		Paid	Amount
a. Accommodation (including the amount paid prior to the trip)		<input type="checkbox"/>	
b. Restaurant, fast food, café etc.		<input type="checkbox"/>	
c. Transport within Hakuba (Buses, Taxis etc.)		<input type="checkbox"/>	
d. Amusement services	d1. Ski/snowboard lifts, ski/snowboard equipment rental, ski/snowboard school etc.	<input type="checkbox"/>	
	d2. Other amusement services (On-site tour guide, entrance fee etc.)	<input type="checkbox"/>	
e. Shoppings		<input type="checkbox"/>	
f. Other spending (_____)		<input type="checkbox"/>	

16. Could you describe the good/bad (including the reasons/ideas of your answer for question #5) aspects, if any, related to your staying in Hakuba Valley? (free answer)

--